

## わが国の慢性透析療法の現況 (2020年12月31日現在)

花房 規男<sup>1</sup> 阿部 雅紀<sup>1</sup> 常喜 信彦<sup>1</sup> 星野 純一<sup>1</sup>  
 菊地 勘<sup>1</sup> 後藤 俊介<sup>1</sup> 神田 英一郎<sup>1</sup> 谷口 正智<sup>1</sup>  
 中井 滋<sup>1</sup> 長沼 俊秀<sup>1</sup> 長谷川 毅<sup>1</sup> 三浦 健一郎<sup>1</sup>  
 和田 篤志<sup>1</sup> 武本 佳昭<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 日本透析医学会統計調査委員会 <sup>2</sup> 日本透析医学会理事長

### 〈要旨〉

日本透析医学会統計調査 (JSDT Renal Data Registry: JRDR) の2020年末時点における年次調査は、4,493施設を対象に実施され、施設調査票に関しては4,437施設 (98.8%)、患者調査票に関しては4,271施設 (95.1%)のほぼ例年通りの回答を得た。わが国の透析患者数は年々増加し、2020年末の施設調査結果による透析患者数は347,671人に達し、人口百万人あたりの患者数は2,754人であった。患者調査結果による平均年齢は69.40歳で、最も多い原疾患は糖尿病性腎症 (39.5%)、次いで慢性糸球体腎炎 (25.3%)、第3位は腎硬化症であった (12.1%)。2020年の施設調査結果による透析導入患者数は40,744人であり、2019年から141人減少した。患者調査結果による透析導入患者の平均年齢は70.88歳であり、原疾患では糖尿病性腎症が最も多く40.7%で、昨年より0.9ポイント少なかった。第2位は腎硬化症 (17.5%) で、昨年同様慢性糸球体腎炎 (15.0%) を上回った。2020年の施設調査結果による年間死亡患者数は34,414人であり、年間粗死亡率は9.9%であった。主要死因は心不全 (22.4%)、感染症 (21.5%)、悪性腫瘍 (9.0%) の順で、昨年とほぼ同じ比率であった。2012年以降、血液透析濾過 (HDF) 患者数は急増しており2020年末の施設調査票による患者数は163,825人で、維持透析患者全体の47.1%を占めた。腹膜透析 (PD) 患者数は10,338人であり2017年から増加傾向にある。腹膜透析患者のうち20.8%は血液透析 (HD) やHDFとの併用療法であり、この比率はほぼ一定していた。2020年末の在宅HD患者数は751人であり、2018年末から9人減少した。2020年は、新規調査項目として、新型コロナウイルス感染症、悪性腫瘍の調査が行われた。また2019年に引き続き、生体腎移植における腎提供の既往が調査された。これらのデータはそれぞれの疾患・患者に関する基礎資料となり、その結果から、より治療効果の高い日常臨床パターンの提案が期待される。

## 2020 Annual Dialysis Data Report, JSDT Renal Data Registry

The annual survey of the Japanese Society for Dialysis Therapy Renal Data Registry (JRDR) was conducted for 4,493 dialysis facilities at the end of 2020 among which 4,437 facilities (98.8%) responded to the facility survey and 4,271 facilities (95.1%) responded to the patient survey. The number of chronic dialysis patients in Japan continues to increase every year; it has reached 347,671 at the end of 2020 and the prevalence ratio of dialysis patients was 2,754 per million population. The mean age of the prevalent dialysis patients in the patient survey was 69.4 years. Diabetic nephropathy was the most common primary disease of the prevalent dialysis patients (39.5%), followed by chronic glomerulonephritis (25.3%) and nephrosclerosis (12.1%). The number of incident dialysis patients during 2020 was 40,744; it decreased by 141 from 2019. The average age was 70.88 years and diabetic nephropathy (40.7%) was the most common cause in incident dialysis patients. Nephrosclerosis became the second cause followed by glomerulonephritis. As 34,414 patients died in 2020, the crude annual mortality rate was 9.9%. The three major causes of death were heart failure (22.4%), infectious disease (21.5%) and malignancy (9.0%). The patients treated by hemodiafiltration (HDF) have been increasing in number rapidly since 2012. The number has reached 163,825 by the end of 2020, which accounted for 47.1% of all dialysis patients. The number of peritoneal dialysis (PD) patients was 10,338 in 2020, which has slightly increased since 2017. The combination or hybrid therapy with hemodialysis (HD) or HDF was given to 20.8% of PD patients. Home HD therapy was conducted in 751 patients at the end of 2020; it decreased by 9 from 2019. Clinical data about Coronavirus disease (COVID-19) and malignant diseases were newly collected in 2020. The status of the past living kidney donor was also investigated as in 2019. Results obtained on each condition provide a fundamental information from which more clinically effective practice patterns on these conditions will be developed.

# I. 2020年日本透析医学会統計調査報告書 総論

## 緒 言

一般社団法人日本透析医学会は、1968年から毎年末時点におけるわが国の慢性透析療法の現況を調査しており（JSDT Renal Data Registry: JRDR と称す）、この調査では全国の透析療法施設のほぼすべてが対象施設になっている<sup>1,2)</sup>。本調査は関係施設の無償の協力で行われているにもかかわらず、ほぼ全数調査ともいえる回収率であり、文字通りバイアスのないわが国の慢性透析の現況を表しており、このような調査は世界でも稀である。

JRDR の年次報告は、2017年調査結果からフルカラーで次年の本学会和文誌12号に掲載され、それに伴い従来の図説現況報告が廃止された。また、日本透析医学会は2017年にウェブ上で自ら条件設定を行い、帳票出力を随意に行えるシステム（Web-based Analysis of Dialysis Data Archives system: WADDA system）を稼働させた<sup>3)</sup>。このシステムにより、会員のJRDRの調査結果利用の利便性が飛躍的に高まり、学会員は常に最新のデータを用いた解析を行うことが可能になった。これに伴い現行の「わが国の慢性透析療法の現況CD-ROM版」の配布は、2019年の調査結果報告をもって終了した。会員の皆様には是非ともWADDA systemを活用いただきたい。

2020年は、新規調査項目として、新型コロナウイルス感染症、悪性腫瘍の調査が行われた。また2019年に引き続き、生体腎移植における腎提供の既往が調査された。これらのデータは、それぞれの疾患・患者に関する基礎資料となり、その結果から、より治療効果の高い日常臨床パターンの提案が期待される。

## 日本透析医学会統計調査の倫理的基盤

JRDRは、2014年12月に厚生労働省と文部科学省から発布された「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」<sup>4)</sup>と、2017年2月の改正倫理指針<sup>5)</sup>に準拠して行われている。その実施計画書の基本となる倫理的配慮、個人情報保護に対する考え方は、2015年3月の倫理委員会において承認された（日本透析医学会倫理委員会承認番号1）。

2020年の統計調査実施計画における、調査内容の修正等については2020年9月10日に倫理委員会で承認され、UMIN臨床試験登録システム上で公開された（UMIN000018641）<sup>6)</sup>。

## 調査方法

### 1. 調査票の送付と回収

JRDRには透析ベッド数、患者数、透析液水質管理状況などを調べる施設調査票と、その透析施設の個々の患者の透析条件や検査所見、アウトカム指標などを調べる患者調査票の2種類がある。2020年の統計調査では、Excelで作成された施設調査票と匿名化された2019年の患者調査票が格納されたUSBメモリを、2020年12月に全国の透析施設に郵送した。各透析施設は2015年に送付した対応表USBメモリを用い実名復元を行った上で、生存死亡、転院などの転帰記載やその他のデータの更新を行った。さらに新規患者の登録を行い、すべての患者の記載が終了した時点で、再度対応表USBメモリを用いて匿名化処理を行った。各透析施設は患者個人情報が完全に匿名化されたことを確認した後、調査票USBメモリのみを透析医学会事務局に返送した。データの初回締め切りは2021年2月15日に設定したが、その後返送のない施設へ協力依頼を重ね、6月18日の最終回収をもって2020年末データへの組み入れを終了した。

## 2. 調査項目

2020年調査では以下の項目が調査された。

### ◆施設調査

#### 1. 施設概略・規模

- ・施設コード，施設名，透析開始年月
- ・透析能力：ベッドサイドコンソール台数，同時透析能力，最大収容能力，ET フィルター装着コンソール台数
- ・透析従事者数

#### 2. 患者動態

- ・2020年末透析患者数（治療方法別患者数（入院・通院））
- ・2020年透析患者数のうち夜間透析患者数
- ・2020年新規導入患者数（HD（F）で新規導入した患者数，PDで新規導入した患者数）
- ・2020年死亡患者数

#### 3. 透析液水質管理状況

- ・透析液エンドトキシン濃度測定頻度とエンドトキシン濃度
- ・透析液生菌数測定頻度と生菌数
- ・透析用水のための供給水源
- ・残留塩素測定頻度と測定方法
- ・日本透析医学会水質基準（化学的汚染基準）の認知と測定頻度

### ◆患者調査

#### 1. 患者固有情報

- ・性別，生年月日，導入年月，原疾患，在住県，転入年月，転入前施設コード，転帰区分，（転出・死亡・離脱・移植）年月，転出先施設コード，死因，患者情報変更/訂正区分，治療方法，HD/HDF等とPD併用療法の状況，PD経験の有無，レシピエントとしての腎移植の回数，ドナーとしての腎提供の既往，腎提供年月，年末時点での悪性腫瘍の有無，年末時点での悪性腫瘍の種類

#### 2. HD/HDFの治療条件

- ・週透析回数，1回透析時間，血流量
- ・HDF：希釈方法，1セッションあたりの置換液量
- ・身長，透析前後体重，透析前収縮期血圧，透析前拡張期血圧，透析前脈拍

#### 3. 検査所見

- ・透析前後血液尿素窒素濃度（BUN），透析前後血清クレアチニン濃度，透析前血清アルブミン濃度，透析前血清C反応蛋白（CRP）濃度，透析前血清カルシウム濃度，透析前血清リン濃度，血清副甲状腺ホルモン（PTH）値測定方法，PTH値（intact PTH・whole PTH），透析前ヘモグロビン濃度，血清総コレステロール濃度（総コレステロール），血清HDL-コレステロール濃度（HDL-C），新型コロナウイルス検査の有無，初回陽性診断月

#### 4. アウトカム因子

- ・降圧薬内服の有無，喫煙の有無，糖尿病の既往の有無，虚血性心疾患の既往，脳出血の既往，脳梗塞の既往，四肢切断の有無，大腿骨近位部骨折の既往，被嚢性腹膜硬化症（EPS）の既往

#### 5. 腹膜透析調査

- ・治療歴：現在施行中の腹膜透析（PD）透析歴，2020年中のPD実施月数
- ・腹膜機能：腹膜平衡試験（PET）施行の有無，PET4時間値における透析液中クレアチニン濃度と血液クレアチニン濃度の比（PET Cr D/P比）
- ・透析処方：イコデキストリン透析液使用の有無，1日のPD透析液使用量（PD液使用量），1日尿量（尿量），1日平均除水量（除水量），残存腎によるKt/V（残腎Kt/V），PDによるKt/V（PD Kt/V）

- ・透析方法：自動腹膜透析装置（APD）使用の有無，PD透析液交換方法
- ・感染症：2020年中の腹膜炎罹患回数（腹膜炎回数），2020年中の出口部感染罹患回数

### 3. 調査票回収状況

2020年調査は全国4,493施設を対象に実施され，施設調査票に関しては4,437施設（98.8%）から回答が得られた。施設調査票の回収施設は前年比26施設増，0.6%増であった。患者調査票に関しては4,271施設（95.1%）から回答が得られた。

## Ⅱ. 2020年日本透析医学会統計調査報告書 調査結果と考察

### 第1章 2020年慢性透析療法の現況

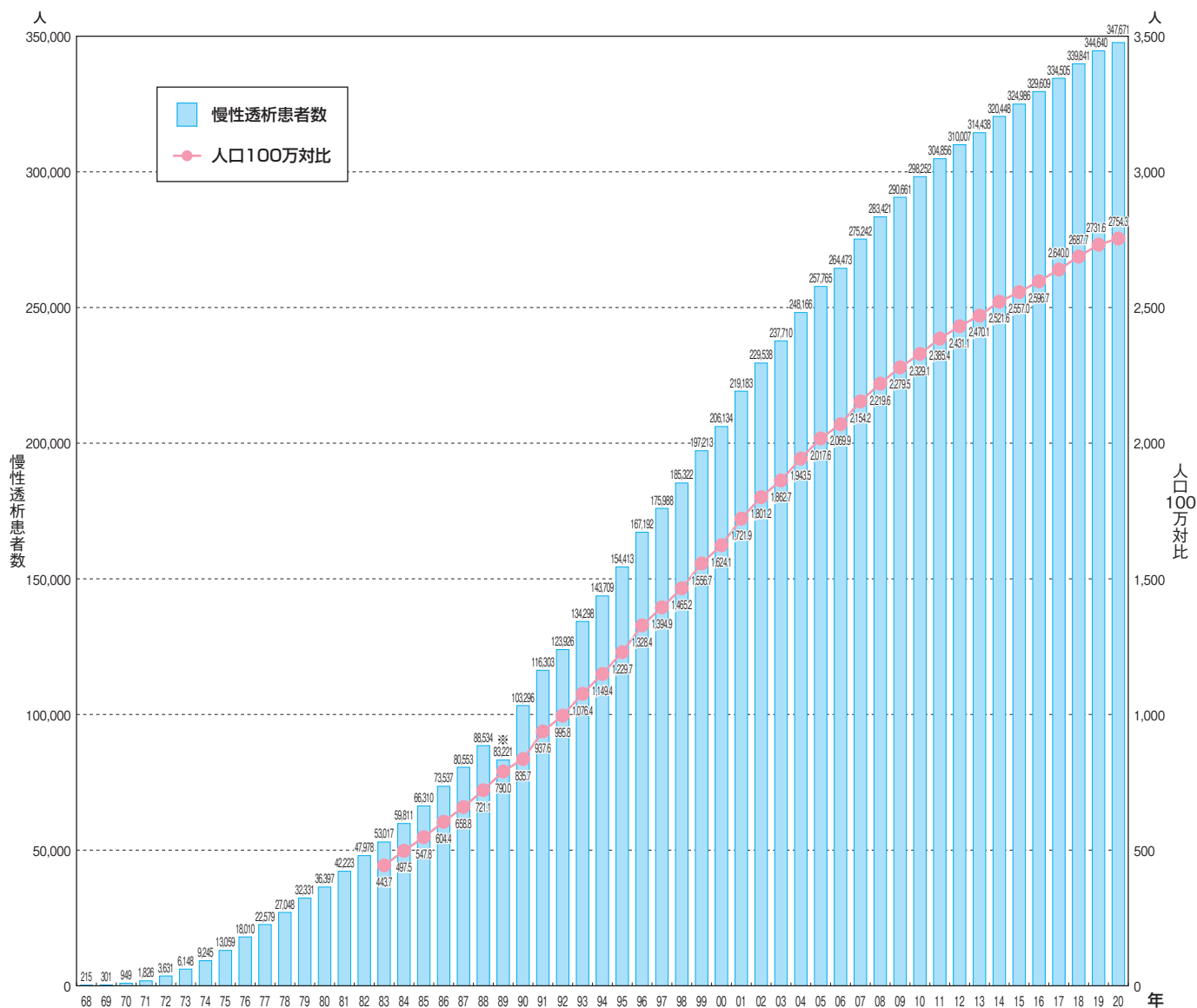
#### 1. 施設動態

2020年の調査は、全国4,493施設を対象に実施された。施設調査票は4,437施設から回答が得られ、回答率は98.8%と例年とほぼ変わらない数字であった。施設調査票の回答施設数は2015年にいったん減少したが、2016年からは再度増加に転じ、2020年は2019年と比較し26施設増、0.6%増であった（表1）。患者調査票は4,271施設から回答が得られ、回答率は95.1%であった。患者調査票の回答率は2015年調査以降、96%前後から95%前後に低下した。この低下に、2015年に行った匿名化強化と紙媒体調査の廃止が影響した可能性がある。ただその後は95%前後を維持している。対象施設の透析コンソールは143,772台、同時透析可能人数は141,752人、最大収容能力は472,531人であり、それぞれ2019年末と比較して、1.6%、1.4%、1.7%の増加であった（表1）。透析コンソール台数は、年々増加している（補足表1）。

表1 わが国の慢性透析療法の要約，2020

調査対象施設数		4,493施設（6施設増 0.1%増）		
回収施設数		4,437施設（26施設増 0.6%増）		
設備	透析コンソール台数	143,772台（2,252台増 1.6%増）		
能力	同時透析能力	141,752人（1,913人増 1.4%増）		
	最大収容能力	472,531人（7,916人増 1.7%増）		
慢性透析患者		347,671人（3,031人増 0.9%増）		
※慢性透析患者の総数は、施設調査票 患者総数欄の合計であり、患者調査票より算出した透析歴別患者数の合計とは必ずしも一致しない。				
人口100万対比		2,754.3人（22.7人増）		
治療方法		通院	入院	合計
血液透析等	血液透析（HD）	149,082（47.0%）	22,242（72.5%）	171,324（49.3%）
	血液透析濾過（HDF）	155,782（49.1%）	8,043（26.2%）	163,825（47.1%）
	血液濾過（HF）	10（0.0%）	4（0.0%）	14（0.0%）
	血液吸着透析	1,369（0.4%）	50（0.2%）	1,419（0.4%）
	在宅血液透析	750（0.2%）	1（0.0%）	751（0.2%）
腹膜透析等	腹膜透析（PD）	7,916（2.5%）	272（0.9%）	8,188（2.4%）
	PD+週1回HD(F)等との併用	1,839（0.6%）	43（0.1%）	1,882（0.5%）
	PD+週2回HD(F)等との併用	161（0.1%）	4（0.0%）	165（0.0%）
	PD+週3回HD(F)等との併用	30（0.0%）	1（0.0%）	31（0.0%）
	上記以外の併用	65（0.0%）	7（0.0%）	72（0.0%）
小計		10,011（3.2%）	327（1.1%）	10,338（3.0%）
2020年末透析患者総数		317,004（100.0%）	30,667（100.0%）	347,671（100.0%）
2020年末透析患者のうち、夜間透析患者数		31,468人（559人減）		
2020年 新規導入患者数	HD(F)等で新規導入	38,263人		
	PDで新規導入	2,481人		
	合計	40,744人（141人減 0.3%減）		
2020年透析患者死亡数		34,414人（228人減 0.7%減）		

（施設調査による集計）



※1989年末の患者数の減少は、当該年度にアンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響である  
人口100万対比は回収率86%で補正

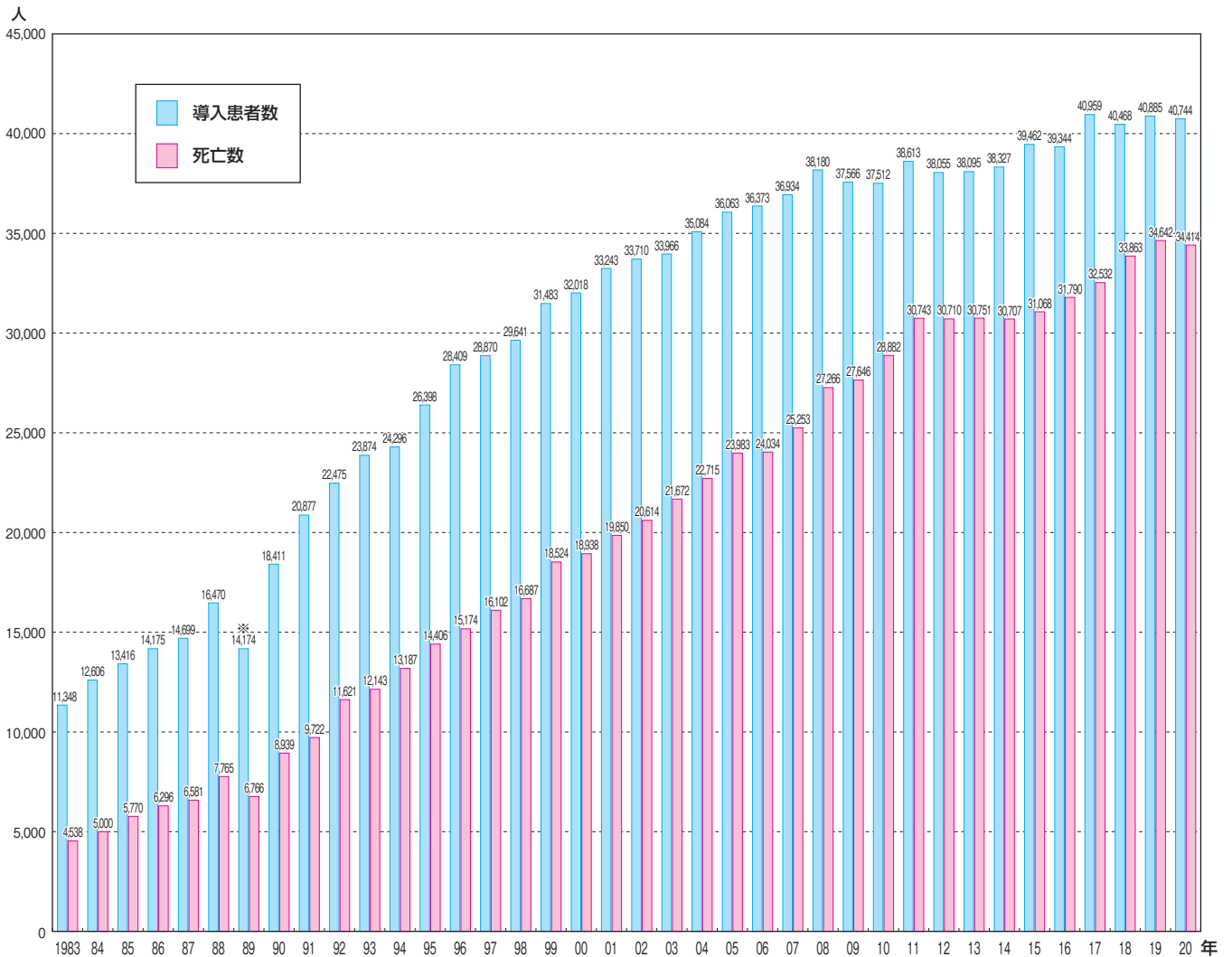
図 1 慢性透析患者数（1968-2020）と有病率（人口100万対比，1983-2020）の推移

（施設調査による集計）

## 2. 患者動態

施設調査票に基づく2020年末の慢性透析療法を受けている患者総数は347,671人であった。これは透析治療を受ける慢性腎臓病患者の有病数（prevalence）を表している。透析患者数は年々増加傾向であったが、近年患者数の伸びが鈍化している。2020年は前年比3,031人増であった（図1，補足表1）。2012年に中井ら<sup>7)</sup>により行われた透析患者数の将来予測では、2021年の約34万9千人をピークに患者数が減少すると予測されている。人口100万人あたりの透析患者数は有病率（prevalence rate）を示す（図1，補足表1）。この有病率は年々増加傾向であり、2020年は人口100万人あたり2,754.3人で、国民363.1人に1人が透析患者であることになる。米国腎臓データシステム（United State Renal Data System: USRDS）によれば、日本の透析患者の有病率は台湾に次いで世界2位である<sup>8)</sup>。





※1989年末の患者数の減少は、当該年度にアンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響である

図2 導入患者数および死亡患者数の推移，1983-2020

(施設調査による集計)

新規透析導入患者数は透析療法を受ける慢性腎臓病患者の罹病数（incidence）を表している。この数は2008年までは毎年増加していたが、2009年以後は増減を繰り返している。2020年は40,744人で、2019年より141人減（0.3%減）であった（図2、補足表2）。このうちHD（F）等での導入は93.9%，PDでの導入は6.1%であった（表1）。一方、各年の死亡患者数も年々漸増傾向である。2012年から2014年までは一旦ほぼ横ばいとなったが、2015年以降再び漸増傾向となった。2020年の死亡患者数は34,414人で、前年と比べ228人減（0.7%減）であった（図2、補足表2）。一般的に、前年度の患者数に導入患者を加え、死亡患者を差し引いた数が当該年度の患者数と考えられる。しかし、移植による透析離脱患者が含まれないことや、導入患者数を過大評価したり死亡患者数を過小評価したりしている可能性があり、計算上の患者数と実際の患者数は一致しない。

都道府県別の透析患者数を表2に示す。表中の都道府県集計は、患者居住地ではなく施設所在地による集計であるため、厳密に都道府県別の患者動態を反映していないことに注意が必要である。有病率（人口100万人あたりの透析患者数）は、地域によりかなり異なる。これらの地域差には非常に多くの因子が複雑に交絡しているため、都道府県の比較は慎重に行われなければならない。

表2 都道府県別の透析患者数および治療形態，2020

都道府県名	調査対象施設数	施設調査票回収施設数	血液透析等					腹膜透析等					計	人口100万あたり患者数
			血液透析(HD)	血液透析濾過(HDF)	血液濾過(HF)	血液吸着透析	在宅血液透析	腹膜透析(PD)	週1回のHD(F)等との併用	週2回のHD(F)等との併用	週3回のHD(F)等との併用	上記以外の併用		
北海道	261	258	7,535	8,167	0	105	10	442	103	2	1	5	16,370	3,130.6
青森県	41	41	1,185	2,346	0	3	3	87	13	1	0	1	3,639	2,937.0
岩手県	44	43	2,225	843	0	11	0	54	14	0	0	1	3,148	2,599.5
宮城県	66	66	3,583	2,359	0	17	7	191	26	1	0	0	6,184	2,685.2
秋田県	41	41	1,274	862	0	0	2	45	3	0	0	0	2,186	2,277.1
山形県	35	35	1,407	1,283	0	6	12	64	7	1	2	0	2,782	2,602.4
福島県	73	71	2,375	2,774	0	19	0	58	22	10	0	0	5,258	2,867.0
茨城県	87	87	5,109	3,219	0	53	18	67	16	0	0	0	8,482	2,956.4
栃木県	81	81	3,434	2,978	0	25	11	161	16	3	0	1	6,629	3,427.6
群馬県	63	63	3,782	2,369	1	7	12	74	13	0	0	0	6,258	3,225.8
埼玉県	197	195	7,902	11,199	0	50	76	352	88	6	2	0	19,675	2,678.0
千葉県	159	156	7,962	7,657	1	34	13	267	67	4	1	0	16,006	2,545.9
東京都	445	441	14,381	17,620	0	129	113	955	296	13	1	13	33,521	2,383.3
神奈川県	271	268	11,509	9,814	0	119	34	592	126	4	3	8	22,209	2,403.6
新潟県	53	52	3,298	1,698	0	21	3	160	26	2	0	2	5,210	2,366.0
富山県	42	42	1,727	729	0	16	3	80	16	1	2	3	2,577	2,487.5
石川県	41	41	1,606	1,113	0	19	5	64	7	0	2	0	2,816	2,485.4
福井県	27	25	871	787	0	0	3	54	15	0	2	0	1,732	2,258.1
山梨県	33	33	1,106	1,242	0	6	2	19	10	0	0	0	2,385	2,944.4
長野県	72	72	2,860	2,428	3	6	13	80	13	3	0	1	5,407	2,637.6
岐阜県	74	74	2,960	2,120	0	16	24	81	19	1	0	0	5,221	2,636.9
静岡県	129	127	4,427	6,695	0	28	24	158	23	2	0	1	11,358	3,124.6
愛知県	198	197	9,612	8,627	1	55	47	576	135	23	1	0	19,077	2,528.1
三重県	56	53	2,406	1,662	0	16	8	88	17	0	0	3	4,200	2,371.5
滋賀県	40	39	1,407	1,706	0	32	38	146	14	0	1	0	3,344	2,364.9
京都府	79	77	2,735	3,527	0	55	14	169	54	7	2	1	6,564	2,544.2
大阪府	325	320	10,083	13,303	0	155	53	465	100	8	0	4	24,171	2,733.3
兵庫県	201	196	6,871	7,266	1	88	69	168	34	8	0	0	14,505	2,652.2
奈良県	52	52	1,698	1,799	0	26	7	95	29	0	0	0	3,654	2,757.7
和歌山県	47	47	2,173	830	1	17	31	66	13	0	0	0	3,131	3,392.2
鳥取県	26	25	481	996	0	4	2	59	9	3	0	0	1,554	2,805.1
島根県	30	30	638	1,062	0	4	3	65	8	1	0	0	1,781	2,650.3
岡山県	65	65	2,386	2,760	0	27	6	206	25	4	2	0	5,416	2,865.6
広島県	100	98	3,710	3,735	5	38	26	232	59	26	3	1	7,835	2,797.2
山口県	59	56	1,673	1,881	0	4	1	105	26	9	0	0	3,699	2,754.3
徳島県	40	40	1,258	1,429	0	10	5	74	88	3	1	2	2,870	3,986.1
香川県	50	50	1,141	1,443	0	7	7	122	62	3	0	0	2,785	2,928.5
愛媛県	53	53	1,858	2,105	0	12	0	116	31	1	0	5	4,128	3,089.8
高知県	39	39	750	1,808	0	6	0	11	3	3	0	1	2,582	3,731.2
福岡県	200	197	8,912	5,952	0	53	21	655	55	0	0	1	15,649	3,045.1
佐賀県	37	37	1,628	969	0	12	4	26	7	2	0	2	2,650	3,263.5
長崎県	64	63	2,346	1,513	0	24	8	108	17	1	2	1	4,020	3,061.7
熊本県	92	91	4,171	2,274	0	27	4	111	32	2	1	3	6,625	3,809.7
大分県	69	68	2,691	1,241	0	15	4	96	41	5	0	1	4,094	3,639.1
宮崎県	66	64	2,769	1,136	0	7	0	45	5	1	0	1	3,964	3,704.7
鹿児島県	96	95	3,462	1,881	1	16	2	157	43	1	1	8	5,572	3,506.6
沖縄県	74	73	1,947	2,618	0	19	3	122	36	0	1	2	4,748	3,234.3
合計	4,493	4,437	171,324 (49.3)	163,825 (47.1)	14 (0.0)	1,419 (0.4)	751 (0.2)	8,188 (2.4)	1,882 (0.5)	165 (0.0)	31 (0.0)	72 (0.0)	347,671 (100.0)	2,754.4

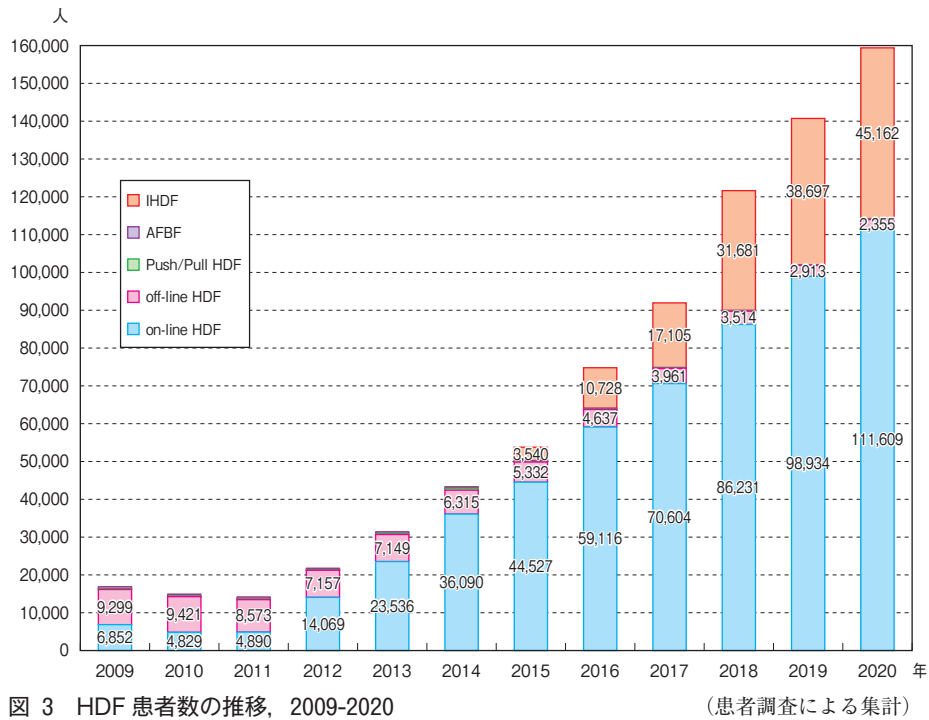
(施設調査による集計)

### 3. 透析治療形態

2020年の透析治療方法の全体に占める各透析治療形態の割合は、血液透析(hemodialysis: HD)は49.3%、血液透析濾過(hemodiafiltration: HDF)は47.1%、血液濾過(hemofiltration: HF)は0.004%、血液吸着透析は0.4%、在宅血液透析(home hemodialysis: HHD)は0.2%、腹膜透析(peritoneal dialysis: PD)はHD併用を含めて3.0%であった(表1)。2012年の診療報酬の改定以降HDF患者数は急激に増加しており、2020年は163,825人に達した。HDF療法の内訳は、患者調査票でみると、On-line HDFが70.0%、次いでIHDFが28.3%となっている。ここ数年は特にIHDFの患者割合が増加傾向である(図3、補足表3)。一方、PD患者数は10,338人と昨年の9,920人から増加し、そのうち20.8%がHD(F)との併用療法であった。HHDの患者数は751人と横ばいであった。PDとHHDを足したわが国の在宅透析の合計の比率は3.2%であり、これらは先進諸国の中では最も低い部類に入る<sup>8)</sup>。都道府県別の治療形態にもまた地域差を認めたが、医療事情などさまざまな因子による影響を受けると考えられる(表2)。



2020年の夜間透析患者数は31,468人であった（表1）。夜間透析患者数は2014年調査までは41,000～42,000人で推移してきたが、2015年は33,370人と急激に減少した。これは2015年調査において、夜間透析患者の定義を「保険で認められる時間帯（午後5時以降開始もしくは午後9時以降終了）の透析です。」と追記したことが影響した可能性がある。2015年以降も全体的には減少傾向を認めている。



## 第2章 2020年慢性透析患者の動態

### 1. 臨床背景

2020年の患者調査票において、性別、年齢が記載されていた人数は336,759人であった。このうち男性は222,510人、女性は114,249人で、全体の平均年齢は69.40歳であった（図4、補足表4）。平均年齢は年々増加傾向を示している（図5、補足表5）、最も割合が高い年齢層は男女とも70～74歳であった。また65歳未満の患者数は2012年から減少し、70歳未満の患者数は2017年から減少している。つまり、わが国の慢性透析患者数の増加は、70歳以上の患者数の増加によるものであることが分かる（図6、補足表6）。

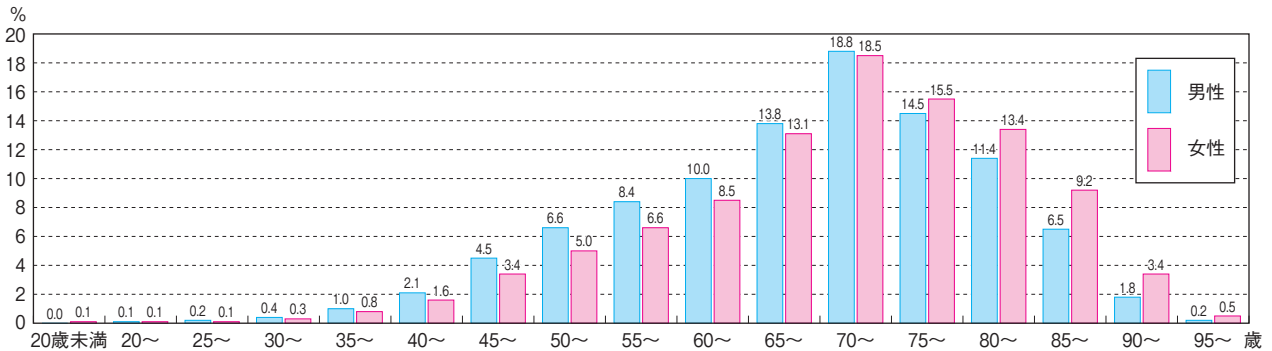


図4 慢性透析患者 年齢と性別, 2020 (患者調査による集計)

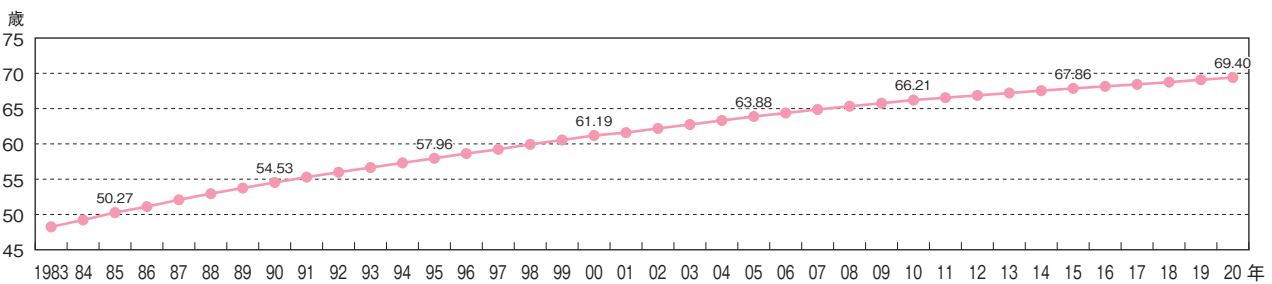


図5 慢性透析患者 平均年齢の推移, 1983-2020 (患者調査による集計)

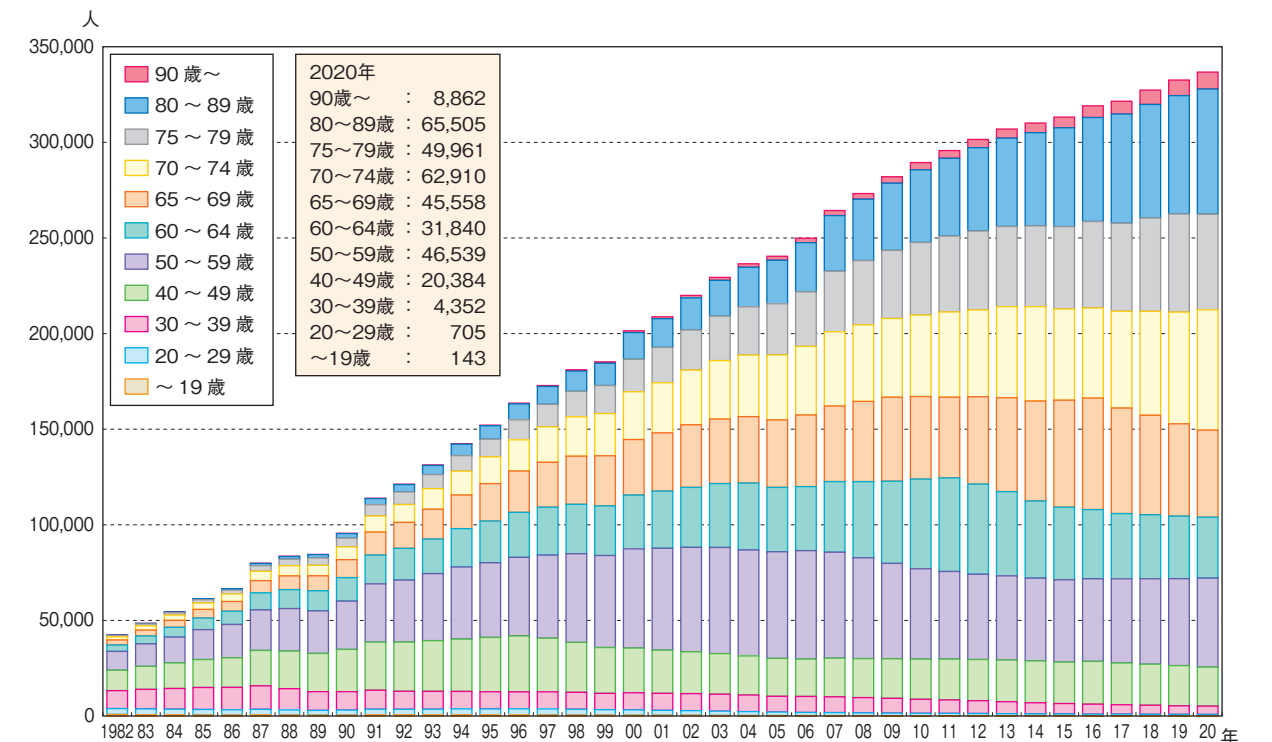


図6 慢性透析患者 年齢分布の推移, 1982-2020 (患者調査による集計)

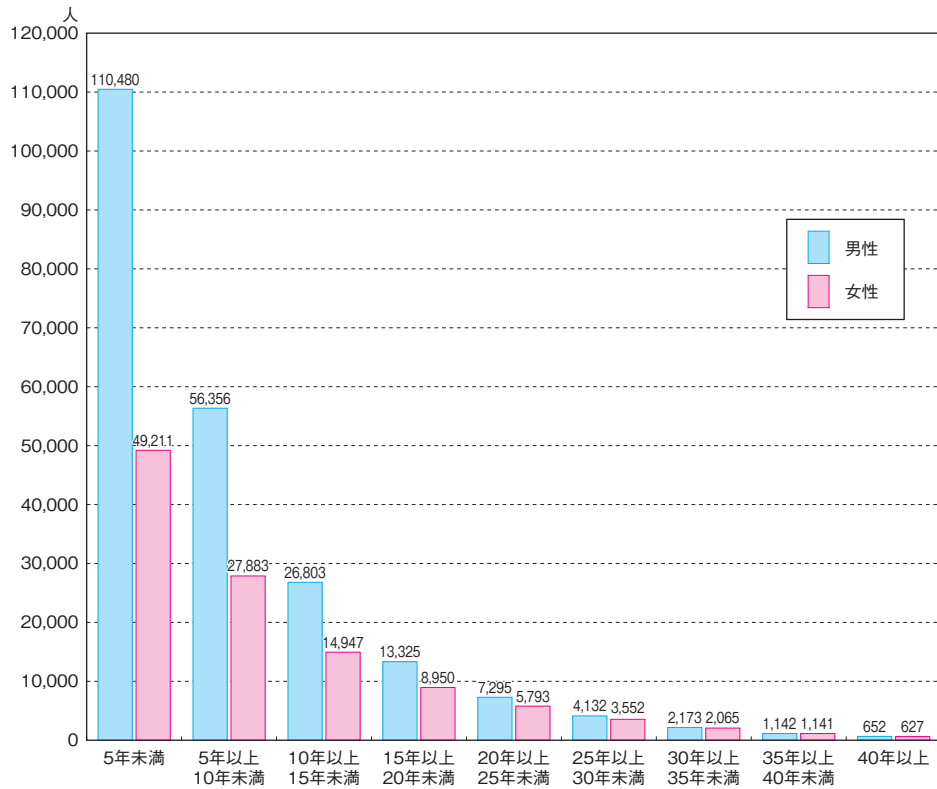


図7 慢性透析患者 透析歴と性別, 2020 (患者調査による集計)

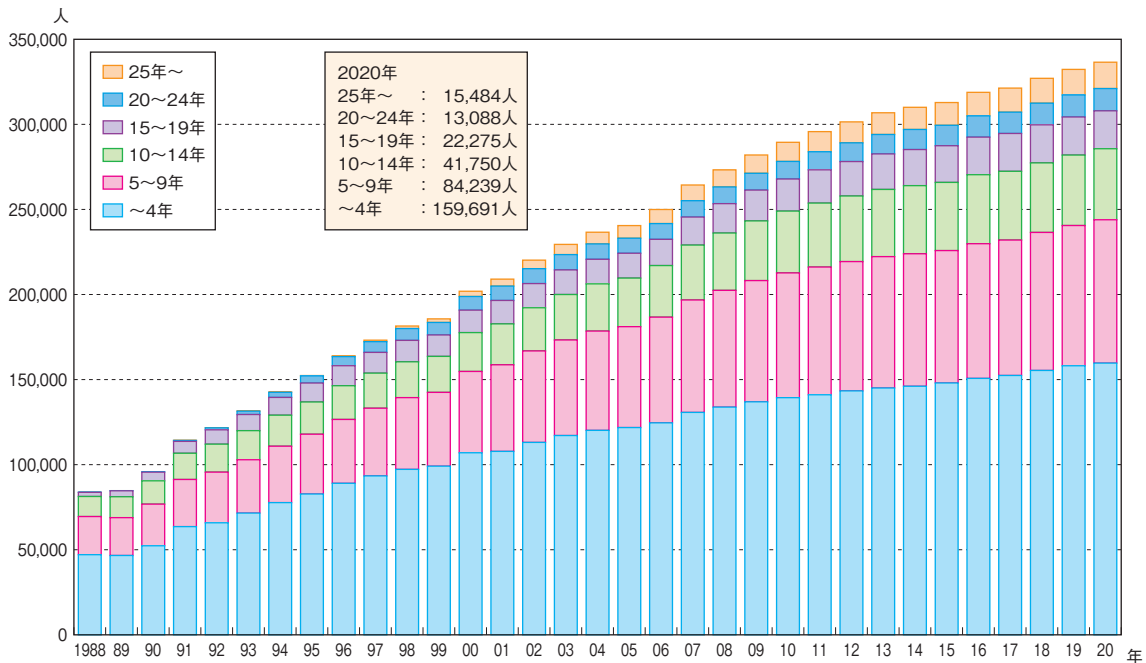


図8 慢性透析患者 透析歴分布の推移, 1988-2020 (患者調査による集計)

2020年末時点の慢性透析患者の平均透析歴は男性6.84年、女性8.41年、全体で7.37年であった。透析歴5年未満が全体の47.5%を占め、透析歴20年以上は8.5%、30年以上が2.3%、40年以上が0.4%であった(図7、補足表7)。最長透析歴は52年4ヵ月であった。透析歴の長い患者は増加しており、10年以上の透析歴を持つ患者が27.5%に達している。1992年末には1%に満たなかった透析歴20年以上の患者は、2020年末には8.5%に達している(図8、補足表8)。

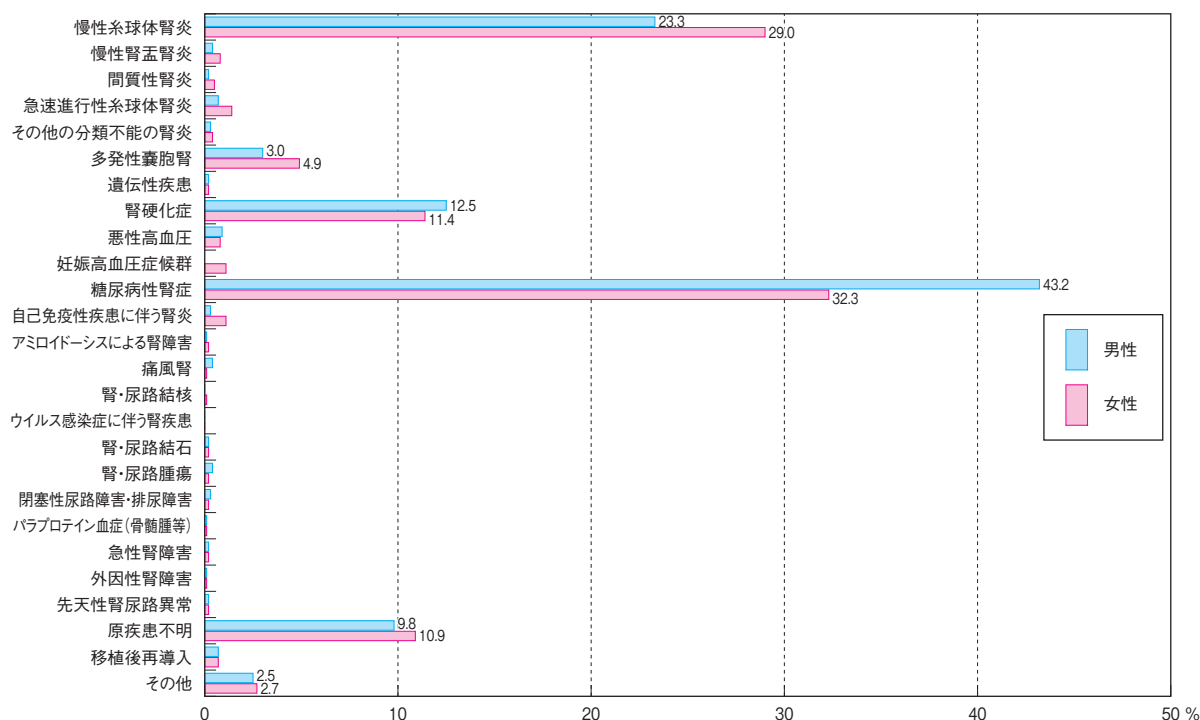


図9 慢性透析患者 原疾患と性別, 2020

(患者調査による集計)

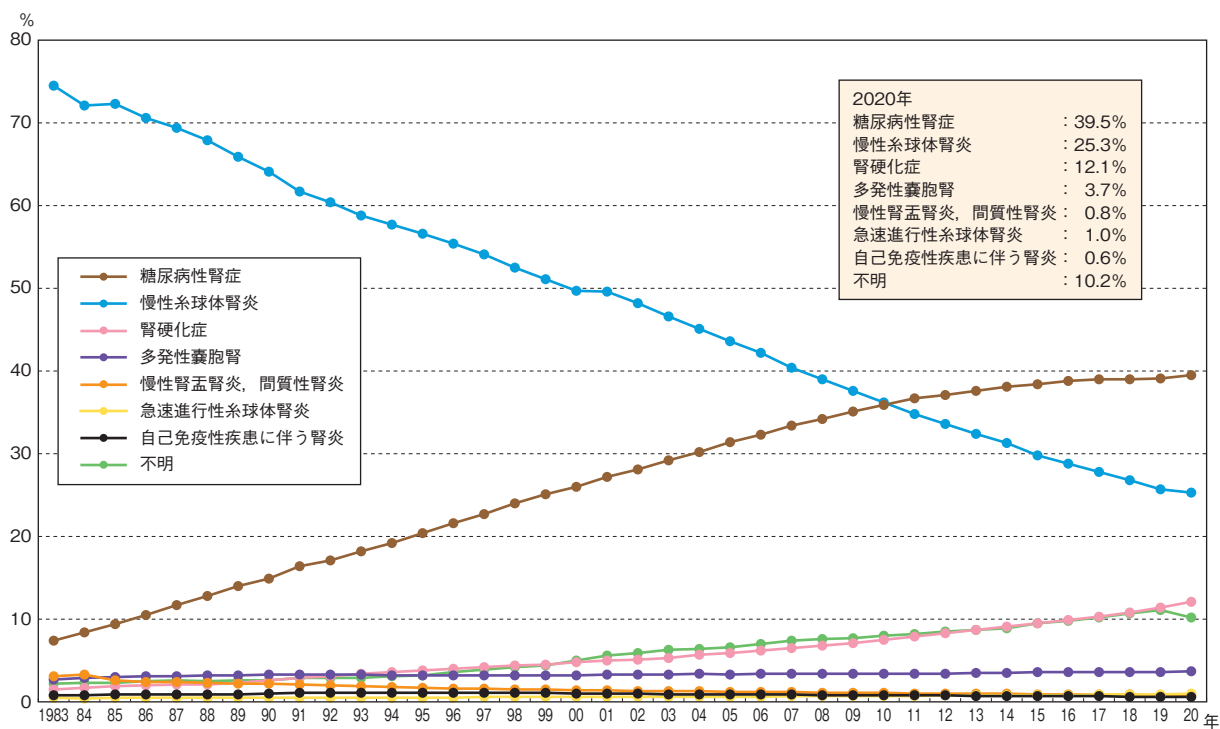


図10 慢性透析患者 原疾患割合の推移, 1983-2020

(患者調査による集計)

2020年末時点の慢性透析患者の原疾患で最も多いのは糖尿病性腎症の39.5%で、次いで慢性糸球体腎炎が25.3%、腎硬化症が12.1%であった(図9, 補足表9)。糖尿病性腎症の割合は、2011年に慢性糸球体腎炎に代わって原疾患第1位になって以降も持続的に上昇しているが、近年は微増から横ばいを推移している。慢性糸球体腎炎は直線的に減少し、腎硬化症、原疾患不明は持続的に上昇している(図10, 補足表10)。なお、原疾患コードは2017年末調査で一部変更しており注意が必要である。

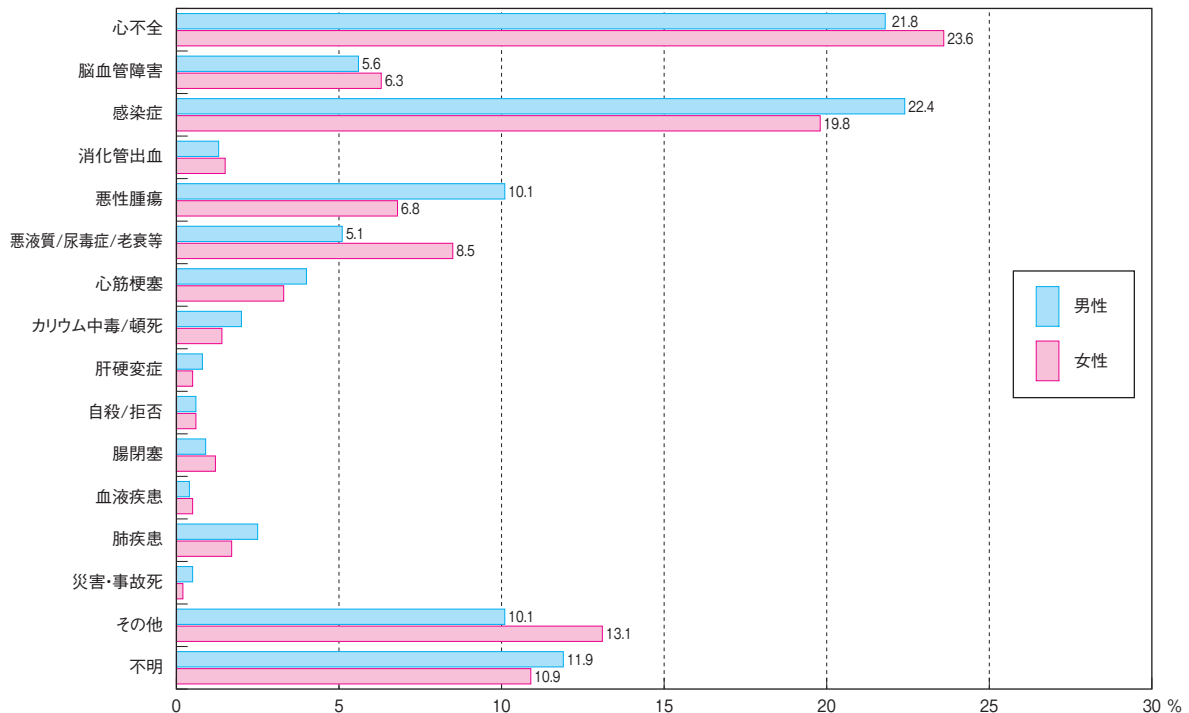


図 11 慢性透析患者 死亡原因と性別, 2020

(患者調査による集計)

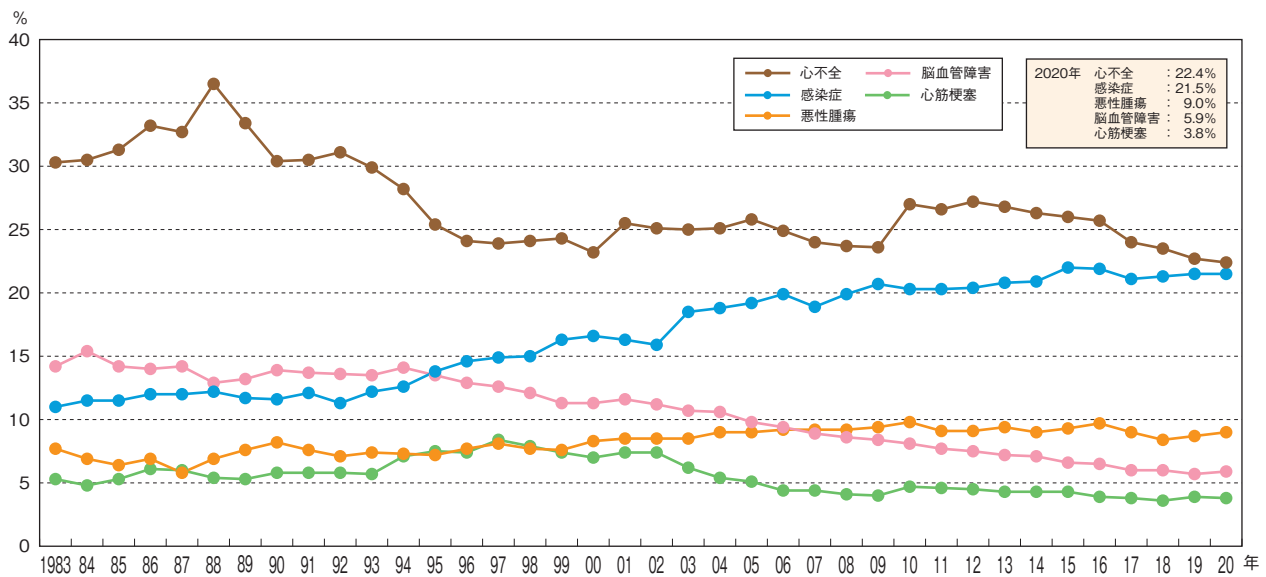


図 12 慢性透析患者 死亡原因割合の推移, 1983-2020

(患者調査による集計)

## 2. 死亡原因

2020年の施設調査票では、34,414人の死亡が報告されていたが、患者調査票において死亡原因と性別が記載された患者数は33,069人であった。死亡原因は多い順から心不全、感染症、悪性腫瘍、悪液質/尿毒症/老衰等、脳血管障害で、それぞれ全体の22.4%、21.5%、9.0%、6.2%、5.9%であった。その他は全体の11.1%であった。心不全、脳血管障害、心筋梗塞を併せた「心血管死」の割合は、32.0%であった（図11、補足表11）。

死亡原因の推移では、1983年から心不全による死亡が最も多く、1995年以降、25%前後で推移していたが2013年以降漸減傾向にある。一方、感染症による死亡は1993年以降増加傾向を示し、2015年からは21.5%前後を推移している。脳血管障害は1994年以降漸減傾向にある。心筋梗塞による死亡も、1997年の8.4%をピークに漸減傾向である。悪性腫瘍死は1987年の5.8%を底に少しずつ増加していたが、2004年からは9.0%前後を推移している。前述した心血管死の割合は、1988年には54.8%であったが一貫して減少し、2020年には32.0%であった（図12、補足表12）。なお、本調査における死亡原因分類コードは、2003年末、2010年末、2017年末調査の3回改訂されていることに注意が必要である<sup>9)</sup>。

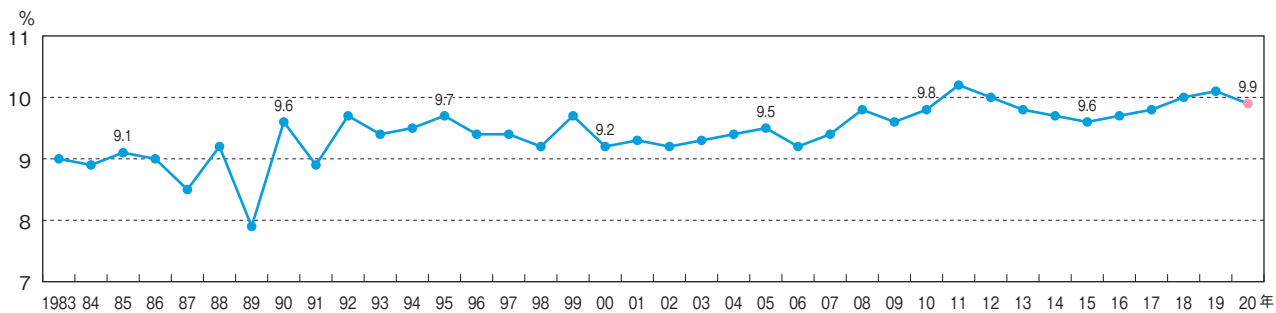


図 13 慢性透析患者 粗死亡率の推移, 1983-2020

(施設調査による集計)

### 3. 粗死亡率

施設調査における患者動態から年間粗死亡率を計算した。

$$\text{粗死亡率} = \left\{ \frac{\text{死亡数}}{(\text{前年患者数} + \text{調査年患者数}) \div 2} \right\} \times 100 (\%)$$

粗死亡率は、アンケート回収率が低かった1989年の7.9%が最低値を示したが、おおむね9~10%で推移し、2020年末は9.9%であった(図13, 補足表13)。



### 第3章 2020年透析導入患者の動態

#### 1. 臨床背景

2020年の患者調査票において、年齢と性別の記載が確認された導入患者数は38,549人であった。男性は26,983人、女性は11,566人で、導入患者の平均年齢は全体が70.88歳、男性が70.19歳、女性が72.48歳であった（図14、補足表14）。導入患者の平均年齢も慢性透析患者と同様、年々高齢化している（図15、補足表15）。最も割合が高い年齢層は、男性が70～74歳で、女性は80～84歳であった。

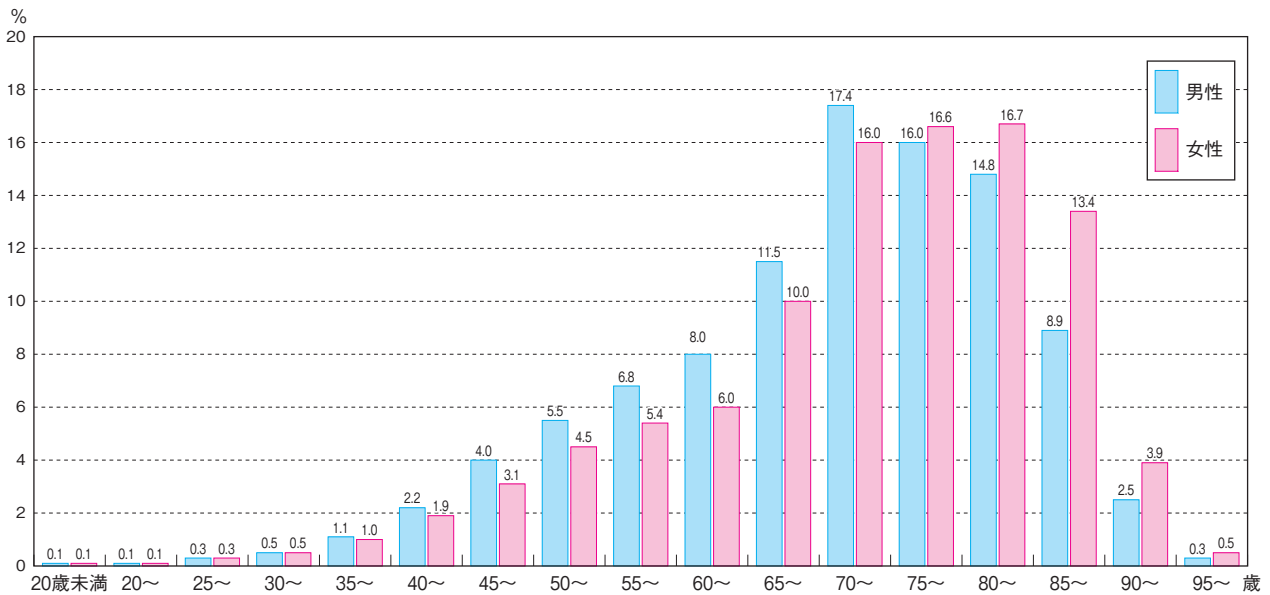


図14 導入患者 年齢と性別, 2020

(患者調査による集計)

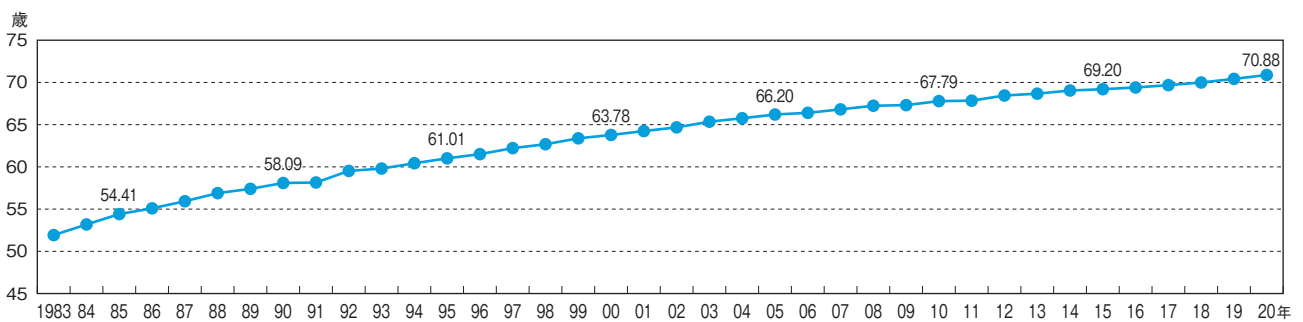


図15 導入患者 平均年齢の推移, 1983-2020

(患者調査による集計)

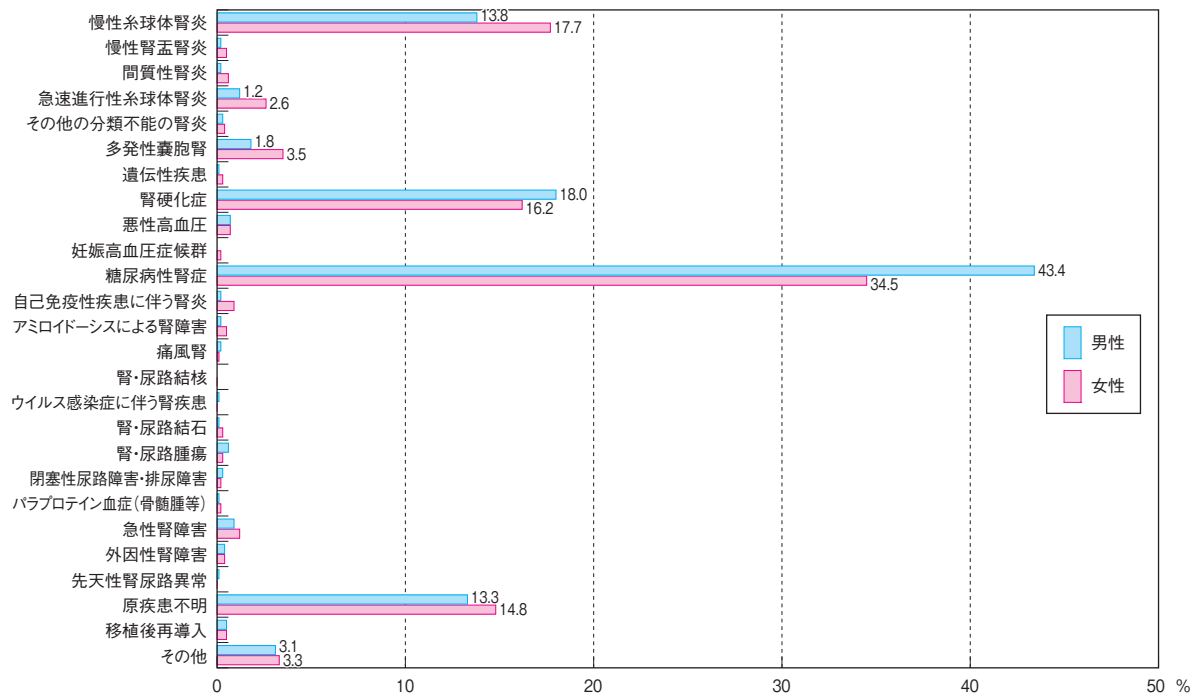


図 16 導入患者 原疾患と性別, 2020

(患者調査による集計)

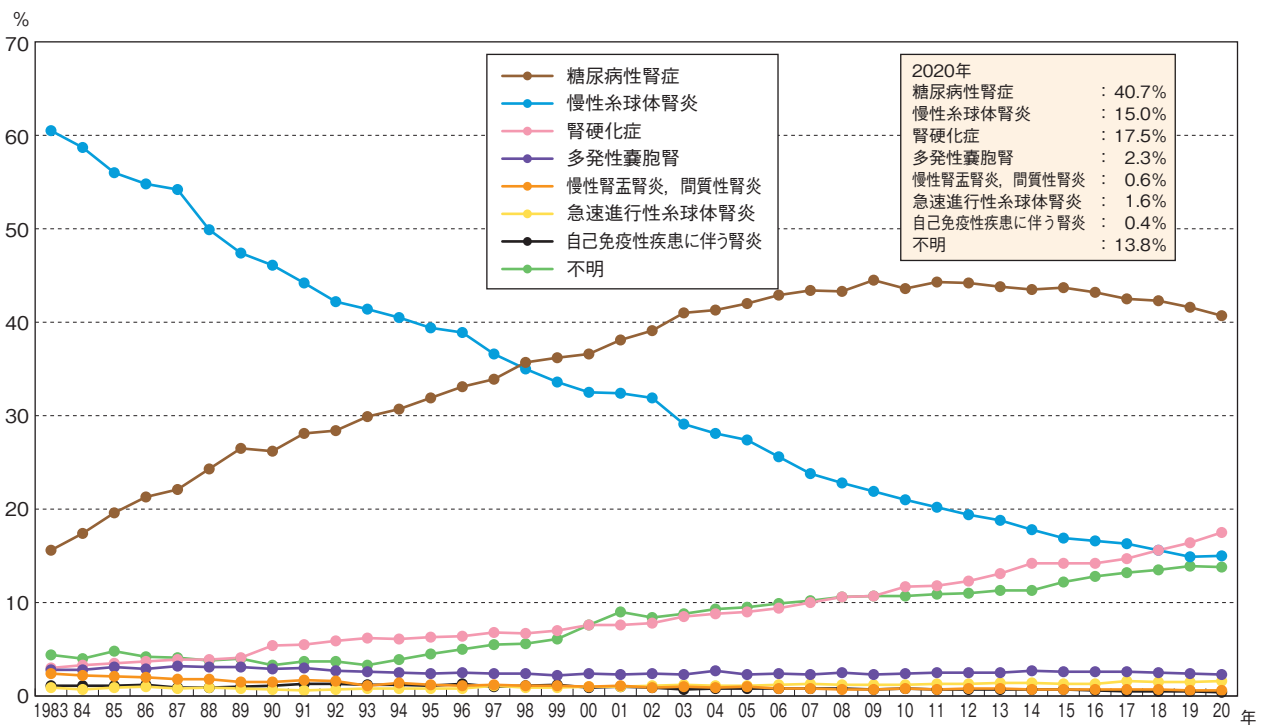


図 17 導入患者 原疾患割合の推移, 1983-2020

(患者調査による集計)

2020年導入患者の原疾患で最も多いのは糖尿病性腎症で40.7%、次いで腎硬化症の17.5%、慢性糸球体腎炎の15.0%であり、2019年に腎硬化症が慢性糸球体腎炎に代わって第2位となって以降、同様な傾向を認めている。原疾患不明は13.8%であった(図16, 補足表16)。導入患者の原疾患は、1998年に慢性糸球体腎炎に代わって、糖尿病性腎症が原疾患の第1位になって以来、一貫して増加していたが、近年は慢性糸球体腎炎と同様に減少傾向である。一方、腎硬化症の持続的な増加が認められる(図17, 補足表17)。

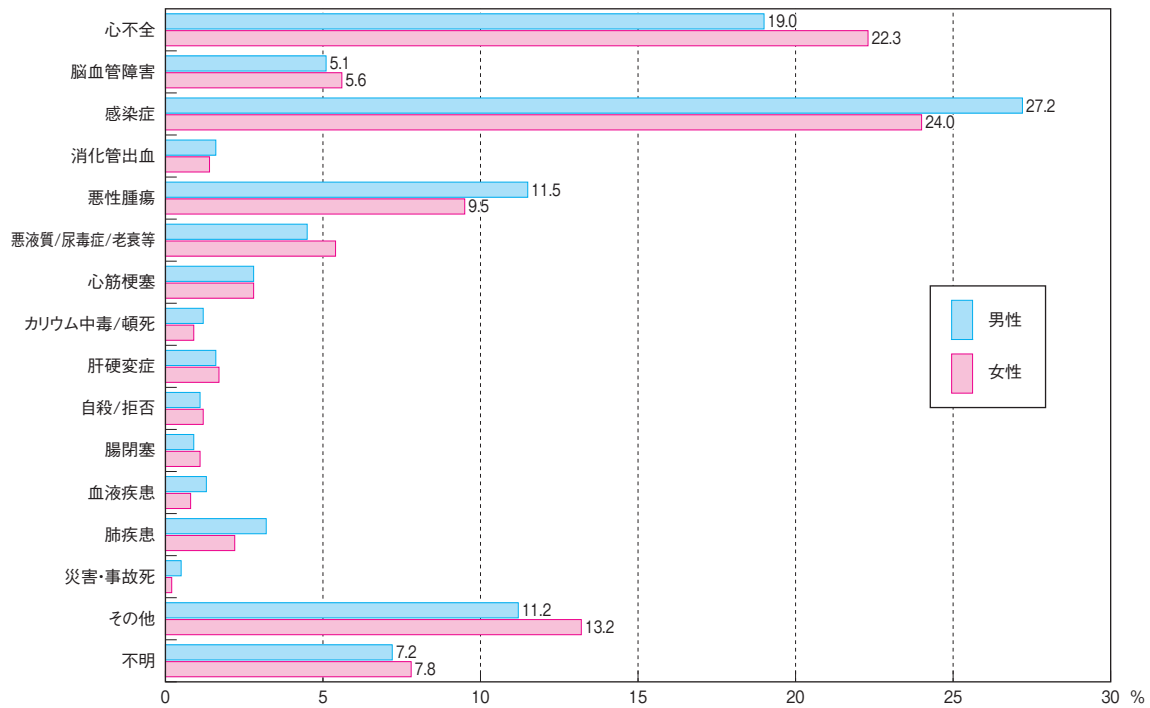


図 18 導入患者 死亡原因と性別, 2020

(患者調査による集計)

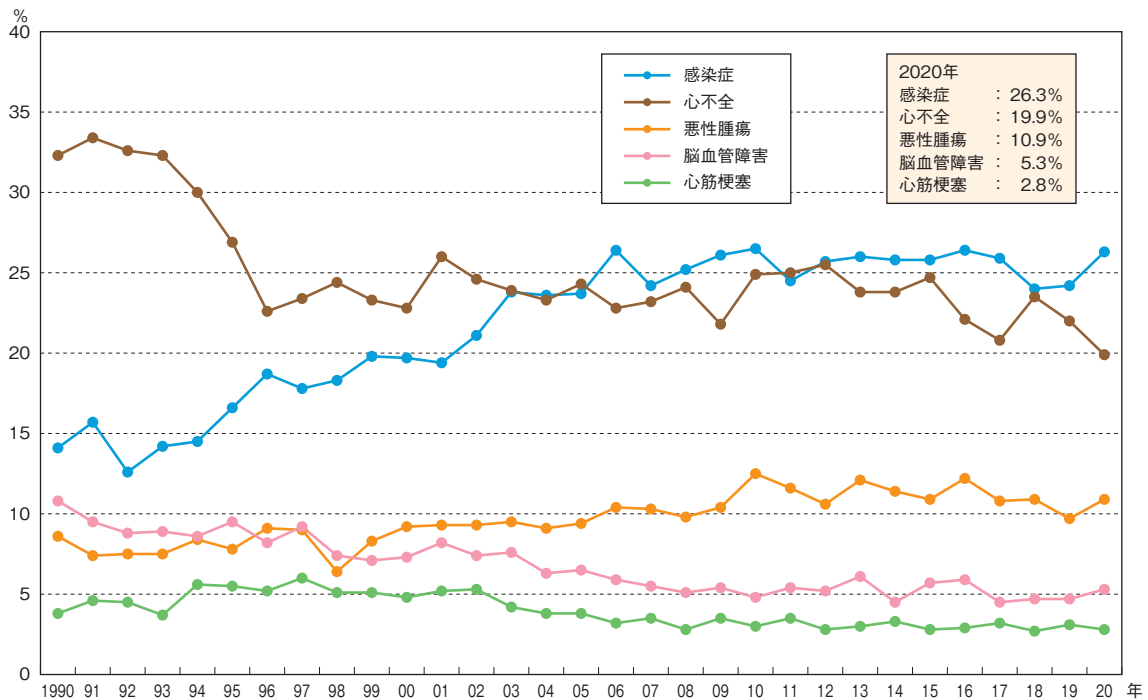


図 19 導入患者 死亡原因割合の推移, 1990-2020

(患者調査による集計)

## 2. 死亡原因

2020年導入患者の導入年内の死亡原因は、全体では感染症が26.3%と最も多く、次いで心不全が19.9%、悪性腫瘍が10.9%、脳血管障害が5.3%、悪液質/尿毒症/老衰等が4.7%、肺疾患が2.9%、心筋梗塞が2.8%であった。心血管死の合計は28.0%に漸減した（図18、補足表18）。透析導入年内の死亡原因の推移をみると、1990年代は心不全が最も多かったが、感染症が徐々に増加し、2006年頃から感染症が最も多い死因となった。悪性腫瘍による死亡の割合は、2006年以降10%前後を推移している。脳血管障害による死亡は、2006年以降5%前後を推移している（図19、補足表19）。

## 第4章 透析液水質管理

### 1. 背景および対象

透析液の細菌学的水質とその管理状況については2006年から調査を開始した。その調査結果をもとに、2008年に透析液の細菌学的水質基準を改定し<sup>10)</sup>、さらに2016年に化学的汚染基準が追加された<sup>11)</sup>。これらの基準では透析液の細菌学的水質をエンドトキシン（endotoxin: ET）濃度と生菌数の両者で評価するとしている。両者とも最低月1回以上の頻度で行い、透析コンソールは月最低1台以上で、全コンソールを最低年1回以上は検査するよう定めている。透析治療に用いる必要最低限の水質を「標準透析液」として規定し、透析液ET濃度0.05 EU/mL未満かつ生菌数100 cfu/mL未満と定めた。さらに「超純粋透析液（ultrapure dialysis fluid: UPD）」を透析液ET濃度0.001 EU/mL未満（測定感度未満）かつ生菌数0.1 cfu/mL未満で定義し、すべての透析治療にUPDの使用を推奨している。

また2017年調査から、透析液の生物学的汚染に加えて、化学的汚染とその対策についても調査している。

本章の透析液水質管理に関する調査は透析コンソールを1台以上保有する施設を対象に行われ、2020年の調査対象施設数は4,422施設であった。

### 2. 透析液ET検査

透析液ET測定頻度は、調査対象4,422施設のうち4,400施設から回答が得られた。水質基準の規定である月1回以上を満たす施設は3,733施設、全体の84.8%であった（図20a、補足表20）。透析液ET検査を月1回以上行っている施設の割合は、水質基準が示された2008年には33.1%であったが、水質管理加算が新設された2010年には70.6%に急増し、2017年からは85%前後を推移している（図21、補足表21）。

透析液ET濃度に関しては4,358施設から回答が得られ、そのうちUPDの基準である0.001 EU/mL未満を達成している施設は3,746施設で全体の86.0%、標準透析液の基準である0.05 EU/mL未満の施設数は4,248施設で全体の97.5%であった（図20b、補足表20）。透析液ET濃度が0.001 EU/mL未満および0.050 EU/mL未満の施設の割合は、本年も上昇傾向であった（図22、補足表22）。なお、透析液ET濃度について2008年の値が欠損しているのは、この年の調査において透析液ET濃度の表記を国際的ルールに合わせてEU/LからEU/mLに変更したことによる誤記入が多いと判断されたためである。

### 3. 透析液生菌数検査

透析液生菌数の測定頻度に関しては4,393施設から回答が得られ、そのうち水質基準の規定である月1回以上を満たす施設は3,653施設で、全体の83.2%であった（図23a、補足表23）。細菌培養検査の測定頻度は経年的に増加しET測定と同様に2010年に著増しているが、いずれもET測定頻度よりは若干低い（図24、補足表24）。

透析液生菌数については4,293施設から回答が得られ、UPDの基準である0.1 cfu/mL未満は3,481施設で全体の81.1%、標準透析液の基準である100 cfu/mL未満は4,270施設、99.5%達成されていた（図23b、補足表23）。透析液生菌数の0.1 cfu/mL未満および100 cfu/mL未満の施設の割合は年々上昇していたが本年は横ばいとなった。（図25、補足表25）。

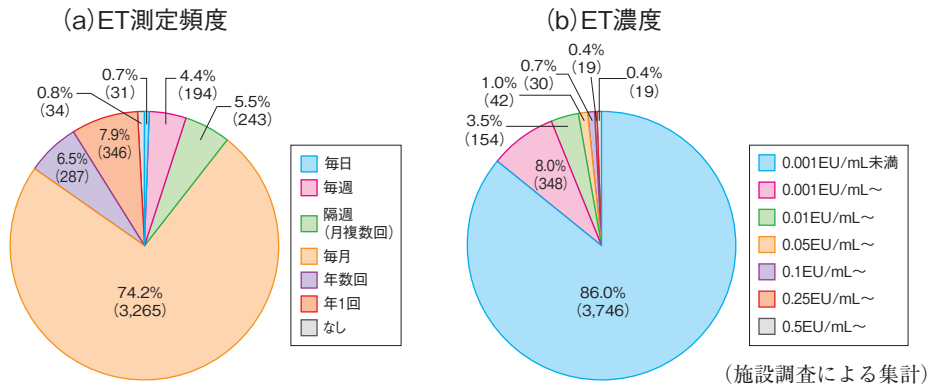


図 20 透析施設における (a) 透析液 ET 測定頻度と (b) ET 濃度, 2020

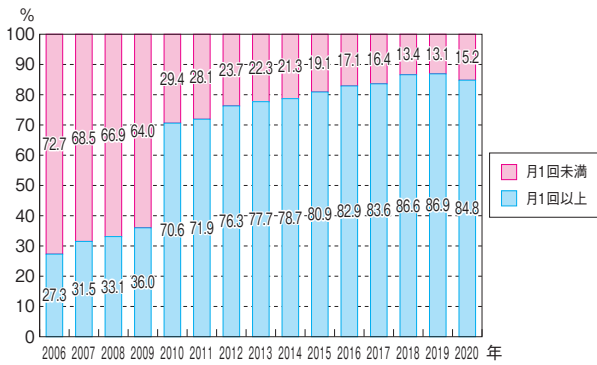


図 21 透析施設における透析液 ET 測定頻度の推移, 2006-2020 (施設調査による集計)

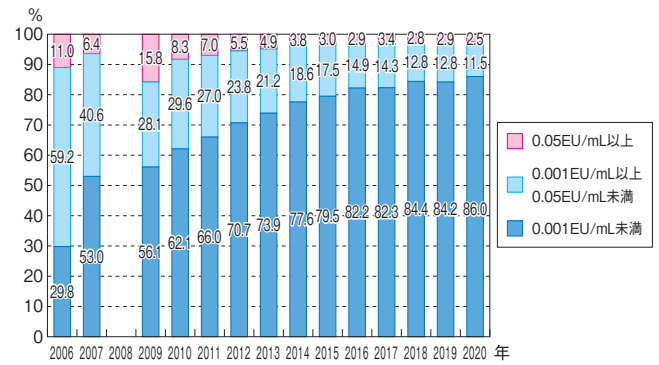


図 22 透析施設における透析液 ET 濃度の推移, 2006-2020 (施設調査による集計)

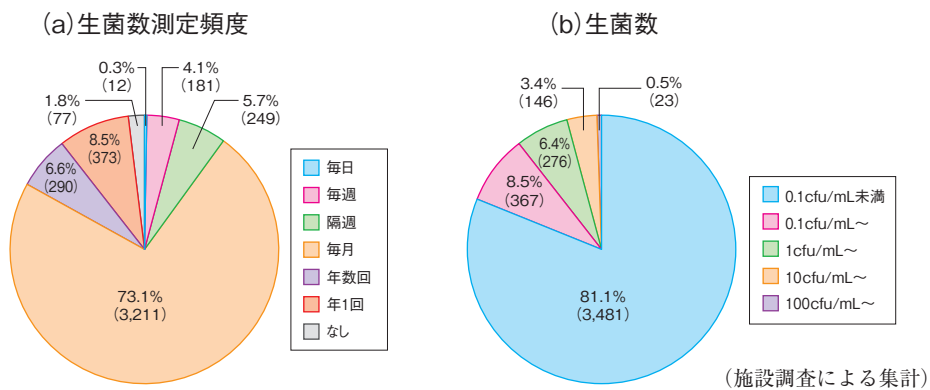


図 23 透析施設における (a) 透析液生菌数の測定頻度と (b) 生菌数, 2020

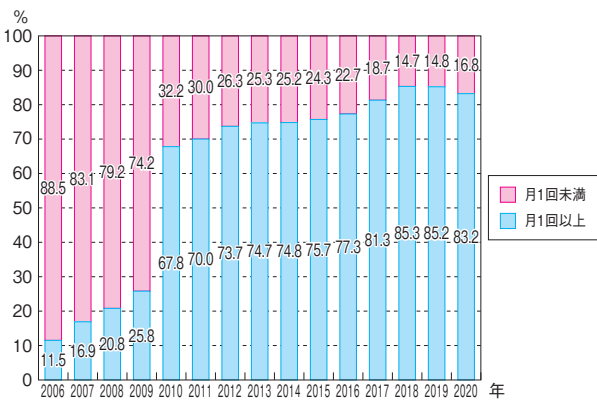


図 24 透析施設における透析液生菌数の測定頻度の推移, 2006-2020 (施設調査による集計)

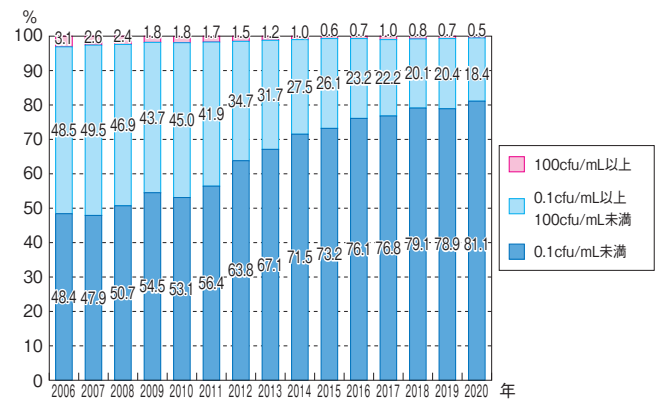


図 25 透析施設における透析液生菌数の推移, 2006-2020 (施設調査による集計)

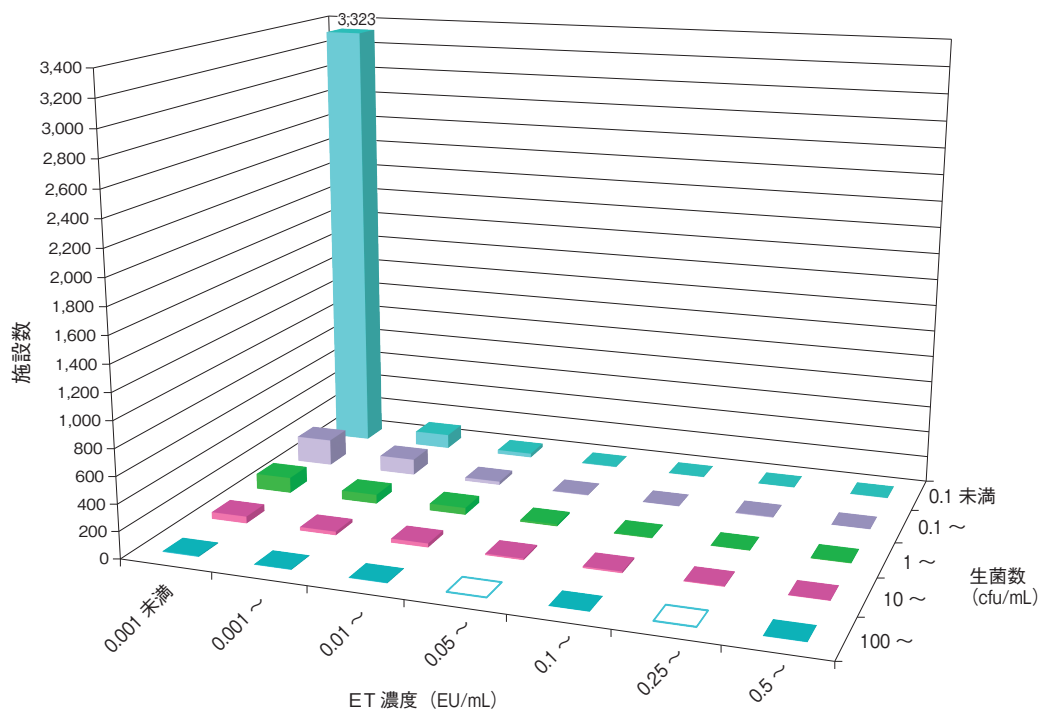


図 26 透析施設における透析液 ET 濃度と生菌数, 2020 (施設調査による集計)

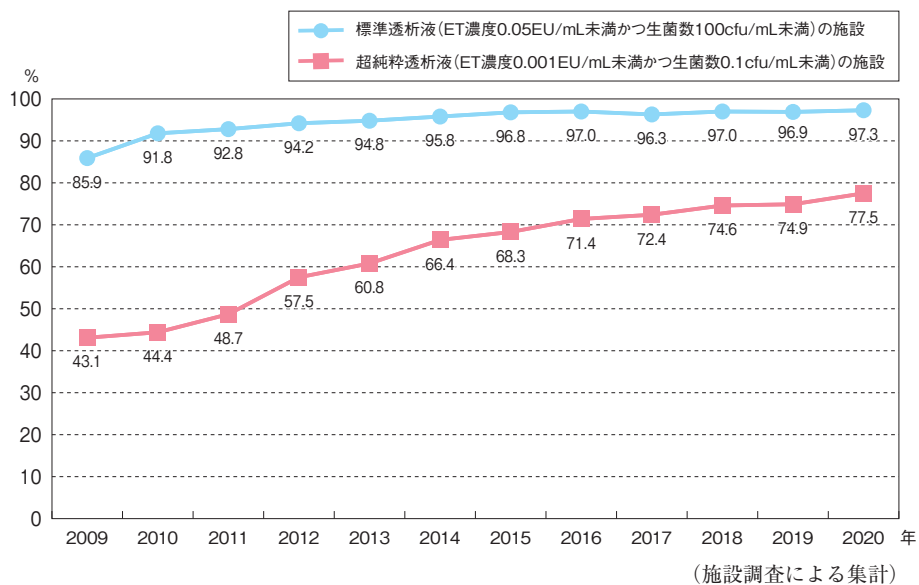


図 27 透析施設における超純粋透析液および標準透析液達成率の推移, 2009-2020 (施設調査による集計)

#### 4. UPD および標準透析液の達成率

日本透析医学会水質基準では、透析液の細菌学的水質は透析液 ET 濃度と生菌数の双方の数値で同時に規定される<sup>10,11)</sup>。透析液 ET 濃度と生菌数の双方に回答があった施設数は、4,286 施設であった。このうち透析液 ET 濃度 0.001 EU/mL 未満かつ生菌数 0.1 cfu/mL 未満という UPD の基準を満たす施設は 3,323 施設で全体の 77.5%、透析液 ET 濃度 0.050 EU/mL 未満かつ生菌数 100 cfu/mL 未満という標準透析液の基準を満たす施設は 4,172 施設で全体の 97.3%であった(図 26, 補足表 26)。この UPD と標準透析液の達成率は経年的に上昇している(図 27, 補足表 27)。



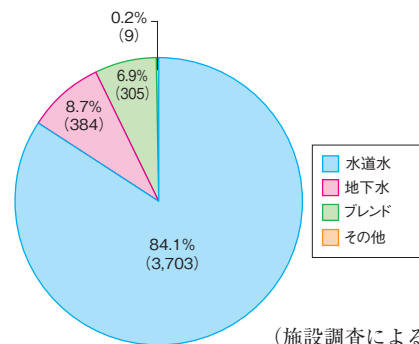
### 5. 透析用水の供給水源および化学的汚染対策について

透析用水の供給水源については4,401施設から回答が得られた。水道水が3,703施設と最多で、全体の84.1%を占めた。次いで地下水が384施設、8.7%、ブレンドが305施設、6.9%であった（図28、補足表28）。2019年末と比べて大きな変化はなかった。

残留塩素の測定頻度については4,384施設から回答があり、毎日測定している施設が2,803施設、63.9%と最多で、次いで週1回の889施設、20.3%、月1回の171施設、3.9%の順で多かった（図29、補足表29）。前年に比べて毎日測定している施設が増加した。また残留塩素を測定していない施設は337施設、7.7%に減少した。残留塩素の測定方法については4,198施設から回答があり、遊離塩素と総塩素を測定している施設が40.6%で最多となり、次いで遊離塩素のみが35.0%であった（図30、補足表30）。

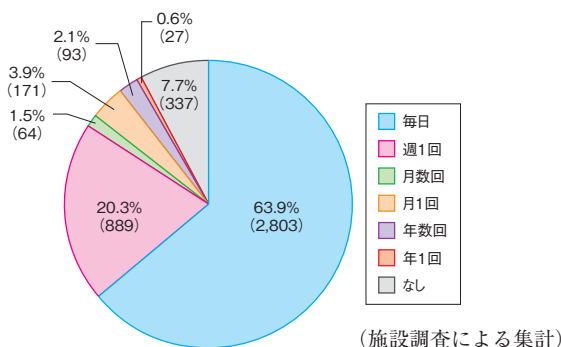
日本透析医学会の化学的汚染基準<sup>11)</sup>の認知度については4,344施設から回答があり、“よく知っている”、“知っている”が全体の87.1%を占め、前年より増加した（図31、補足表31）。また水質基準に定められた化学的汚染物質の測定頻度に関して4,204施設から回答があり、年1回が42.3%、未測定施設が24.6%であった（図32、補足表32）。未測定施設の減少とともに、年1回以上実施する施設が増加した。

透析液の化学的汚染基準についてまとめると、塩素の測定頻度、測定方法について改善が見られ、認知度も少し改善し、化学汚染物質の測定をしていない施設が減っていた。今後も継続的な調査によりコンプライアンスが向上することが期待される。



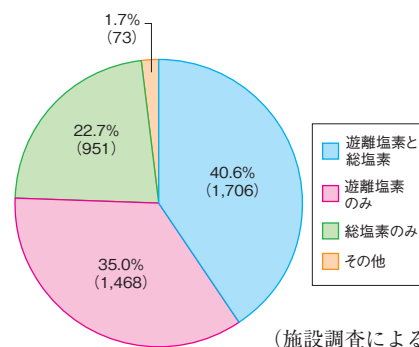
（施設調査による集計）

図28 透析施設における透析用水の供給水源，2020



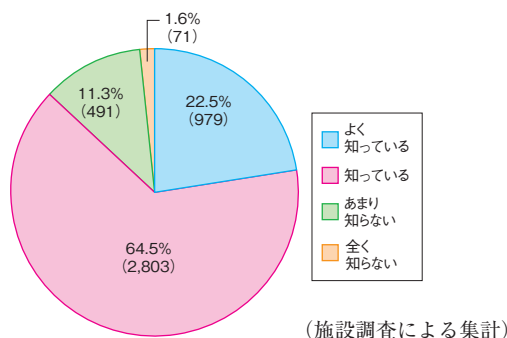
（施設調査による集計）

図29 透析施設における残留塩素の測定頻度，2020



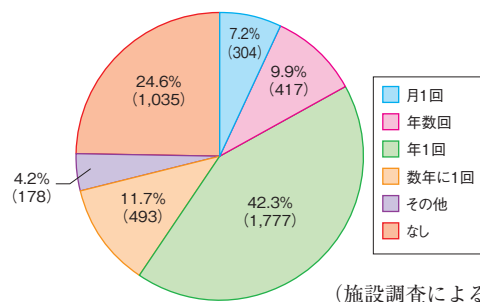
（施設調査による集計）

図30 透析施設における残留塩素の測定方法，2020



（施設調査による集計）

図31 日本透析医学会 化学的汚染基準の認知度，2020



（施設調査による集計）

図32 日本透析医学会 化学的汚染基準の測定頻度，2020

## 第5章 新型コロナウイルス感染症

### 1. 調査の背景

2019年に中国湖北省武漢市から発生した、新型コロナウイルス感染症は急速に世界中に蔓延し、世界保健機関は、2020年3月11日にパンデミックに該当すると宣言した。日本では、2020年1月15日に武漢市に渡航歴のある肺炎患者から、新型コロナウイルスを検出した。その後、2021年9月末までに、第1波から第5波までの急激な新規患者数の増加を経験した。

2020年3月1日に国内で最初の新型コロナウイルス感染症の透析患者が発生し、一般人口と同様に第1波から第5波までの新規患者数の増加を経験した。

今回の調査は、慢性透析患者における感染状況と致死率を調査することを目的とした。

### 2. 慢性透析患者および腹膜透析患者における新型コロナウイルス感染症の罹患率と致死率

2020年末に透析を行っている慢性透析患者336,759人のうち、新型コロナウイルス検査の有無について274,946人から回答が得られ、新型コロナウイルス検査の陽性者は789人であった（補足表33）。2020年に死亡した透析患者で新型コロナウイルス検査の陽性者は151人、死因が新型コロナウイルス感染症であるが検査未記入が10人、合計すると感染者は950人であった。以降、この950人を新型コロナウイルス感染症患者として記載する。

一方、併用療法を含む腹膜透析患者（以下、腹膜透析患者という）のみでは、2020年末腹膜透析を行っている患者9,883人のうち、新型コロナウイルス検査の有無について6,861人から回答が得られ、新型コロナウイルス検査の陽性者は16人であった（補足表33）。2020年に死亡した患者で新型コロナウイルス検査の陽性者は1人、死因が新型コロナウイルス感染症であるが検査未記入は1人、合計の感染者は18人であった。

これらの集計から、透析患者全体と腹膜透析患者についてそれぞれ罹患率<sup>\*1</sup>と致死率<sup>\*2</sup>を求めた。罹患率と致死率は下記の計算式を用い、2019年末透析患者数は332,599人、2020年末透析患者数は336,759人、2019年末腹膜透析患者数は9,528人、2020年末腹膜透析患者数は9,883人で計算した。

\*1 罹患率

$$\frac{\text{新型コロナ感染患者数}^{*3}}{(\text{2019年末透析患者数} + \text{2020年末透析患者数}) \div 2} \times 100$$

\*2 致死率

$$\frac{\text{2020年死亡患者で新型コロナウイルス検査が陽性あるいは死因が新型コロナウイルス感染症の患者数}}{\text{新型コロナ感染患者数}^{*3}} \times 100$$

\*3 新型コロナ感染患者数

「2020年末透析実施患者で新型コロナウイルス検査が陽性の患者」と「2020年死亡患者で新型コロナウイルス検査が陽性あるいは死因が新型コロナウイルス感染症の患者」の合計数

透析患者全体での罹患率は0.28%、併用療法を含む腹膜透析患者の罹患率は0.19%であった。また、透析患者全体での致死率は16.9%、腹膜透析患者の致死率は11.1%であった。

透析患者全体の致死率より腹膜透析患者の致死率が低いが、これは新型コロナウイルス検査が陽性であった患者の平均年齢が透析患者全体では67.39歳、腹膜透析患者では60.44歳と、腹膜透析患者の年齢が若いことが影響していると考えられた。

なお、死亡患者については年末時点での治療方法の回答は必須ではなく、今回新型コロナウイルス感染症で死亡した患者161名のうち79人（49.1%）は治療方法が未記入であった。このため、透析患者全体の中にも死亡前に腹膜透析を行っていた患者が含まれる可能性があることに留意する必要がある。

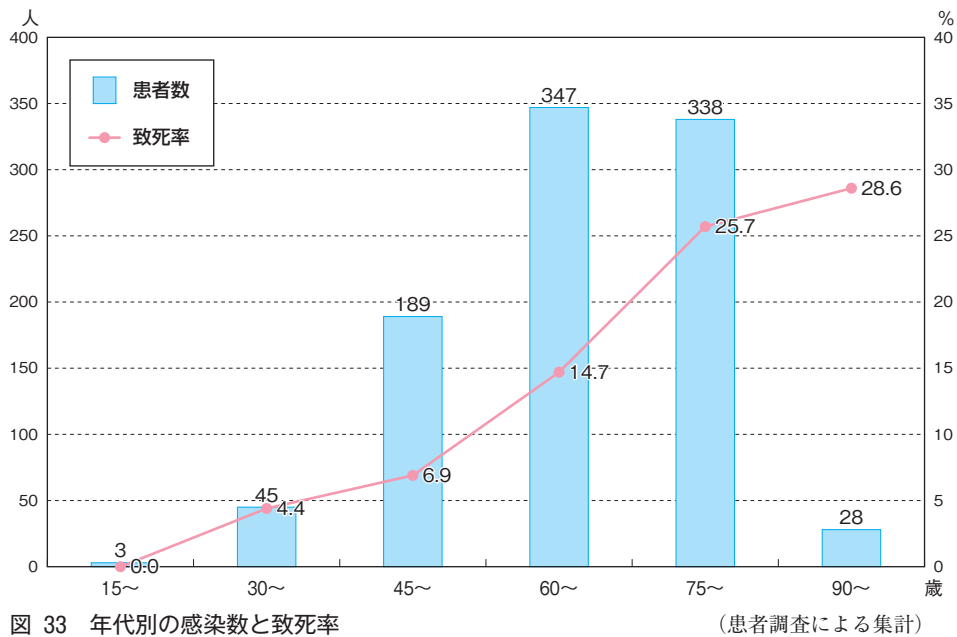


表 3 新型コロナウイルス感染患者 透析歴別致死率, 2020

	2年未満	2年～	5年～	10年～	15年～	20年～	25年～	合計	不明	記載なし	総計
感染者数 (人)	260	237	220	114	53	36	30	950	0	0	950
うち, 死亡数 (人)	36	44	40	17	15	5	4	161	0	0	161
致死率 (%)	13.8	18.6	18.2	14.9	28.3	13.9	13.3	16.9	0	0	16.9

(患者調査による集計)

表 4 新型コロナウイルス感染症患者 糖尿病の有無と致死率, 2020

	糖尿病あり	糖尿病なし	合計	不明	記載なし	総計
感染者数 (人)	529	300	829	121	0	950
うち, 死亡数 (人)	80	19	99	62	0	161
致死率 (%)	15.1	6.3	11.9	51.2	0	16.9

(患者調査による集計)

### 3. 新型コロナウイルス感染症患者 性, 年齢, 透析歴と致死率

新型コロナウイルス感染症患者950人のうち, 男性の感染者数は682人, 女性は268人と男性の感染者数が多かった。また, 男性の死亡は114人, 致死率は16.7%, 女性の死亡は47人, 致死率は17.5%であった(補足表34)。

年齢別の致死率を図33に示す。透析患者では30~44歳で4.4%, 45~59歳で6.9%と若年層から致死率は高く, その後も年齢とともに致死率は上昇する。特に75歳以上では致死率が非常に高かった(図33, 補足表34)。

透析歴別では透析歴15年での致死率が高かったが, 感染者数や年齢による影響によるものと考えられた(表3)。

### 4. 新型コロナウイルス感染症患者 糖尿病の有無と致死率

新型コロナウイルス感染症患者950人のうち, 糖尿病の有無が不明な121人を除く829人から計算した。

糖尿病の有無が判明している感染者829人のうち, 糖尿病患者は529人(63.8%)であり, 糖尿病を合併した患者の割合が高かった。また, 糖尿病患者の致死率は15.1%, 非糖尿病患者は6.3%であり, 糖尿病患者の致死率の方が高かった(表4)。

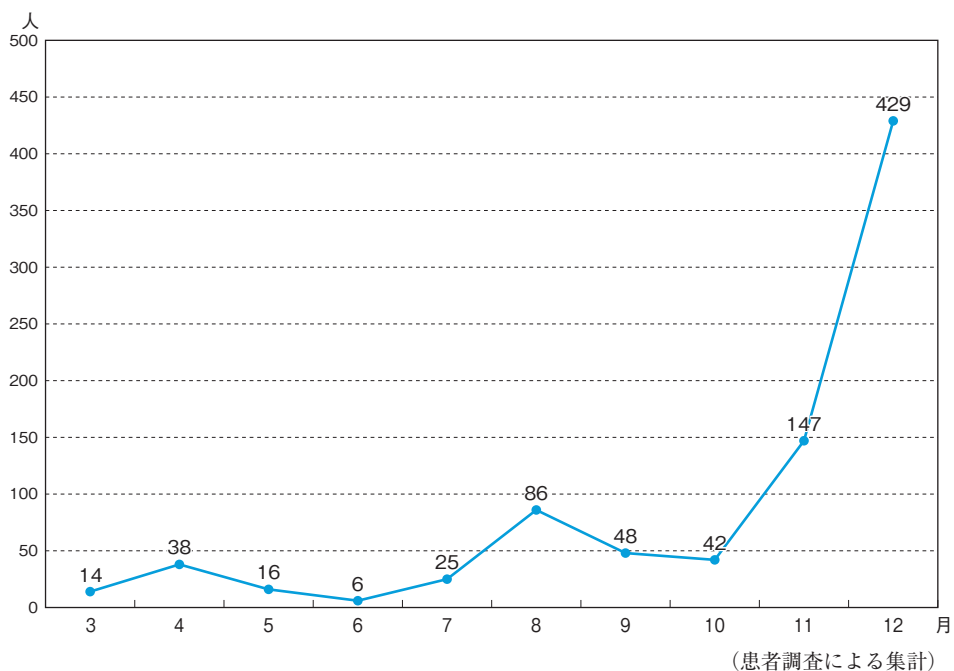


図 34 月ごとの新型コロナウイルス検査陽性者の推移（2020年3月から12月まで）

#### 5. 月ごとの新型コロナウイルス感染症患者数の推移（2020年3月から12月まで）

新型コロナウイルス感染症患者 950 人のうち、陽性診断年月について 851 人から回答があった。2020 年 3 月から 12 月までの感染者数は、男性 612 人、女性 239 人であった。

一般人口では、第 1 波のピークが 4 月、第 2 波のピークが 8 月、第 3 波は 11 月から始まり 2021 年 1 月がピークであった。透析患者では、第 1 波のピークが 4 月、第 2 波のピークが 8 月、第 3 波が 11 月から始まり 12 月にはさらに増加している（図 34、補足表 35）。この一般人口と同様の感染者の推移は、透析患者に特有の感染経路があるのではなく、一般人口と同様に市中感染が主な感染経路であるためと考えられた。

## 第6章 悪性腫瘍

### 1. 調査の背景

わが国の慢性透析患者の死因は、2019年調査では心不全が最も多く（22.7%）、次いで感染症（21.5%）、悪性腫瘍（8.7%）、脳血管障害（5.7%）、心筋梗塞（3.9%）であった<sup>12)</sup>。これは、日本人の死因の1位が悪性腫瘍（27.3%）、2位が心疾患（15.0%）、3位が老衰（7.8%）、4位が脳血管障害（7.7%）、5位が肺炎（6.9%）、6位が誤嚥性肺炎（2.9%）であるのと大きく異なる<sup>13)</sup>。また、一般人口では悪性腫瘍による死亡が年々増加傾向であるのに対して、透析患者では近年約9%である。透析患者においては悪性腫瘍の発症が一般人口より多いといわれているものの、大規模な研究はこれまでそれほど多くはない。このため、2020年末時点の慢性維持透析患者を対象に、悪性腫瘍の罹患率を調査した。当該調査は日本透析医学会の統計調査において1987年以來の調査である。

### 2. 悪性腫瘍の有無と種類

2020年末に慢性維持透析を行っている336,759人のうち、248,871人（73.9%）において現在罹患中の悪性腫瘍の有無について回答が得られた。男性患者164,641人のうち、何らかの悪性腫瘍を罹患している割合は9,867人（6.0%）、女性患者では84,230人のうち3,777人（4.5%）と男性患者で高率であった（図35、補足表36）。

悪性腫瘍の種類については、悪性腫瘍ありと回答があった13,644人のうち、12,964人から回答が得られた。同一症例が複数の悪性腫瘍を合併（多重がん、重複がん）していることもあるため、3つまで回答可とした。そのため、後述するそれぞれの割合は「悪性腫瘍の種類に回答がある患者数」に対するものであり、合計は100%とはならないことに留意されたい。男性では1位が腎泌尿器系（43.8%）、2位が消化器系（29.5%）、3位が呼吸器系（14.7%）であった。女性では1位が乳腺・内分泌系（25.8%）、2位が消化器系（25.4%）、3位が腎泌尿器系（14.5%）であった（図36、補足表37）。男性の腎泌尿器系には前立腺がんが含まれるため、高率となっている。また、年齢別、透析歴別の悪性腫瘍の種類を図37と図38に示す。

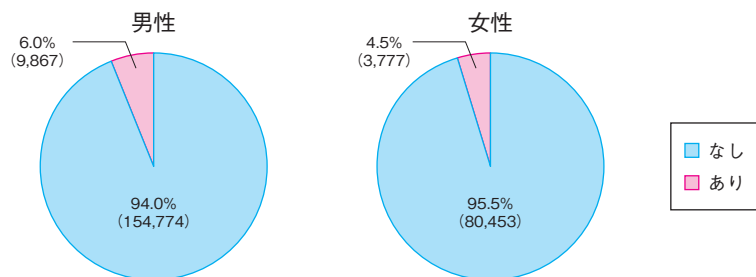


図 35 悪性腫瘍の有無と性別, 2020 (患者調査による集計)

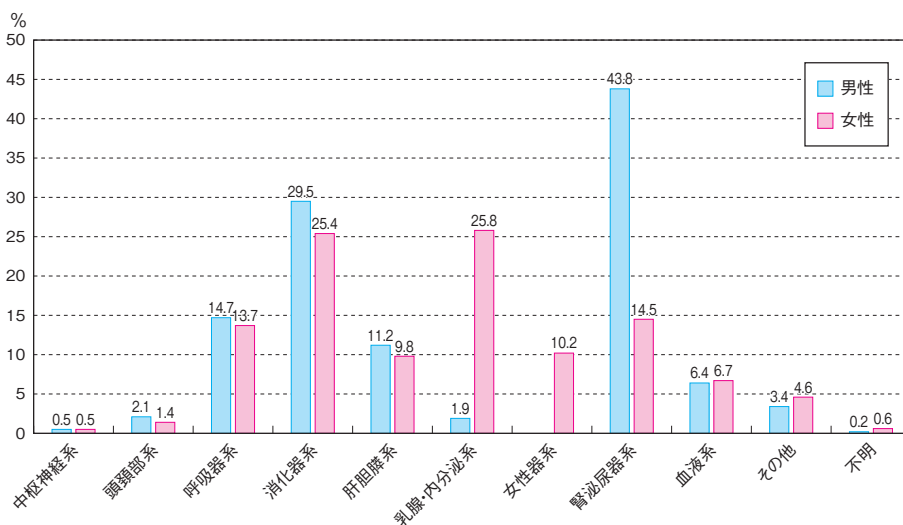


図 36 悪性腫瘍がりの患者 悪性腫瘍の種類と性別, 2020 (患者調査による集計)

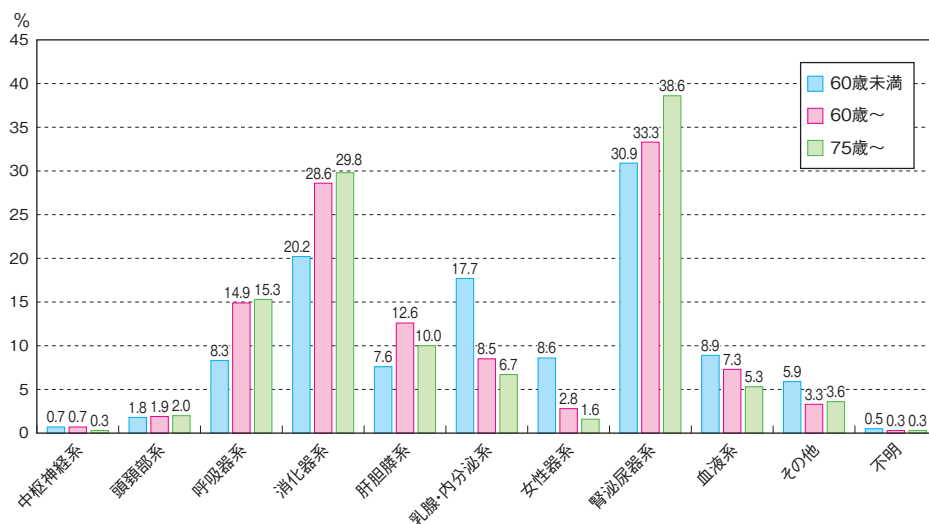


図 37 悪性腫瘍がりの患者 悪性腫瘍の種類と年齢, 2020 (患者調査による集計)

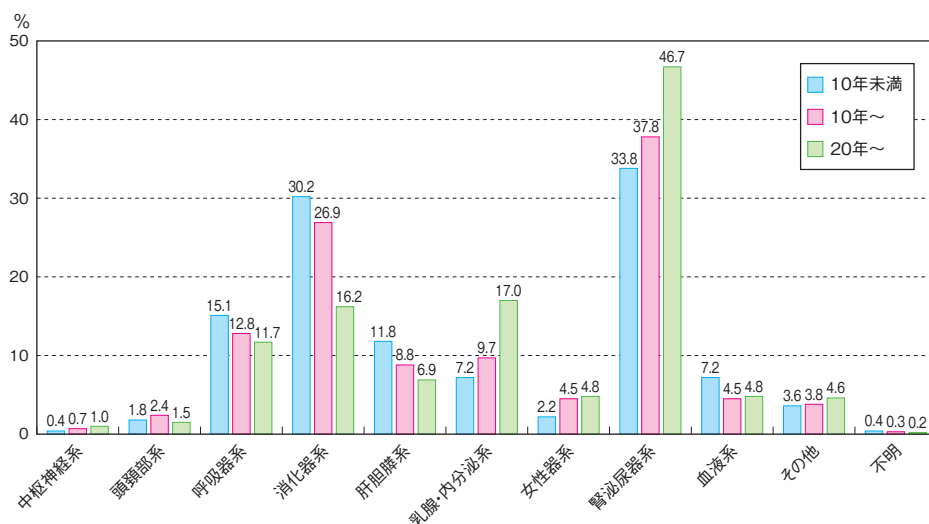


図 38 悪性腫瘍がりの患者 悪性腫瘍の種類と透析歴, 2020 (患者調査による集計)

1987年の調査では男女別の調査は行われていない。1987年末に慢性維持透析を行っている80,075人のうち、悪性腫瘍ありの回答は1,041人で、部位別に回答があったのは974人であった。部位別では1位が胃がん(28.4%)、2位が腎がん(10.2%)、3位が肝・肝内胆管がん(7.4%)であった<sup>14)</sup>。

死因からの調査では透析患者の悪性腫瘍を十分に把握できない。それは、近年の医学の進歩によって、悪性腫瘍は、より早期に発見され、治療が可能となったため、必ずしも死因にはつながらないと考えられる。移植患者においては悪性腫瘍の頻度が高いことはよく知られているが、透析患者でも一般人口と比較して発症頻度が高いとする報告が多いが、そうでない報告もある<sup>15~18)</sup>。透析患者の悪性腫瘍が一般人口と比較して多いかどうかは標準化罹患比(standardized incidence ratio: SIR)で評価されるべきであり、詳細な検討が必要である。さらに、保存期からすでに発症していたのか、あるいは透析導入後に悪性腫瘍を新規で発症したのかなど不明な点が多いため、さらなる検証が必要である。



## 第7章 生体腎移植における腎提供の既往

### 1. 調査の背景

わが国において、年間に実施される腎臓移植のほぼ90%が生体腎移植である<sup>19)</sup>。慢性的なドナー不足のため、高齢や高血圧や糖尿病を持つマージナルドナーからの腎移植も行われている。生体腎移植において、ドナーの安全性は非常に重要である。日本臨床腎移植学会・日本移植学会の報告では腎移植後7年間で透析導入に至ったものは1または2例と報告されているが、回答率が高くないという問題がある<sup>19)</sup>。腎移植ドナーの安全性は腎代替療法の選択にも影響を与える。このため、2019年から慢性維持透析患者を対象に、患者自身が過去に腎移植ドナーとして自身の腎臓を提供した既往があるか否かの調査を開始した。

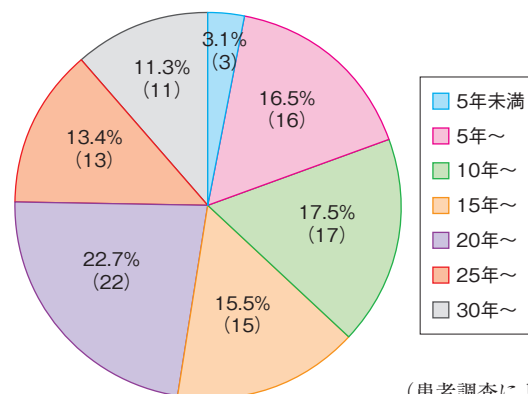
2019年調査は腎提供に関して初めての調査だったため、なんらかの誤解をして回答された患者が含まれた可能性がある。例えば、腎移植ドナーとしての腎提供ありと回答した181人のうち21人は腎提供年が導入年以降であった。集計対象からは除外したが、2020年調査では誤回答を防ぐために、腎提供が導入年以降の場合は入力用Excelファイルでエラー表示するようにした。また、2019年調査では腎提供の既往ありが複数人いる施設にのみ問い合わせを行ったが、2020年調査では腎提供に既往ありと回答があった全施設に、腎提供の有無、腎提供年月の回答に間違いはないか問い合わせを行った。回収時、腎提供の既往ありと記載のあった175施設616人、のうち、163施設604人、から回答があった。その結果、既往なしが507人、既往ありが95人、既往不明が2人となった。確認がとれなかった12人については既往ありのままとした。

### 2. 腎提供の有無

2020年末に慢性維持透析を行っている336,759人のうち、247,691人（73.6%）において腎提供の有無に回答が得られた。この247,691人のうち107人（0.043%）が腎移植ドナーとしての腎提供ありと回答した（補足表40）。2019年末の160人より減少しているが、前年より厳しく確認を行ったためと思われる。

### 3. 腎提供から透析導入までの期間

腎提供年月または腎提供年は107人のうち97人（90.7%）において回答が得られた。腎提供から透析導入までの期間の平均は19年2ヵ月（±9年7ヵ月、標準偏差）であった。腎提供から透析導入までが5年未満だったものが3人（3.1%）、5年以上10年未満だったものが16人（16.5%）であった（図39、補足表41）。ただし、97人中53人において腎提供月が不明であったため、この53人の腎提供が行われた暦月を便宜的にすべてその年の6月と仮定して計算した。2019年末は5年未満だったものが13人（12.5%）、5年以上10年未満だったものが19人（18.3%）であったため、とくに5年未満のものが大幅に減っているが、2019年末の調査ではとくに5年未満のものに、何らかの誤解をして回答されたものが多かったのかもしれない。5年未満が3人であることは、先ほどの日本臨床腎移植学会・日本移植学会の報告<sup>19)</sup>と近い値である。



（患者調査による集計）

図 39 腎提供ありの患者 腎提供から透析導入までの期間, 2020

#### 4. 性、原疾患

2020年調査では男女別と原疾患別のデータも公開した。腎移植ドナーとしての腎提供ありと回答があった107人のうち、男性57人（53.3%）、女性50人（46.7%）であった（補足表41）。原疾患は、慢性透析患者の主要な原疾患である、糖尿病性腎症、慢性糸球体腎炎、腎硬化症と、それ以外の原疾患、不明で分けたが、慢性透析患者全体の割合とは異なり、糖尿病性腎症24人（22.4%）、慢性糸球体腎炎26人（24.3%）、腎硬化症22人（20.6%）といずれも同じぐらいの割合であった（補足表42）。

## 総 括

2020年のJRDR年次調査結果を総括すると、わが国の慢性透析患者数は347,671人と依然として増加しているが、その増加速度は鈍化している。2021年に透析患者数はピークを迎えるとする予測もあり、この先の患者動態を注視していきたい。透析患者の高齢化はさらに進行し、導入患者の平均年齢は昨年に引き続き70歳を超え、70.88歳、年末患者の平均年齢も69.40歳であった。

原疾患においても、従来の結果と同様であった。導入患者の原疾患は、糖尿病が第1位、2019年以来、腎硬化症が第2位となっている。腎硬化症は導入患者・年末患者とも原疾患の割合の中で増加している。一方、導入患者に占める糖尿病性腎症の割合は減少している。

わが国の透析液の生物学的水質は非常に高くJSDT基準の遵守度も高い水準を維持している。2017年から調査が開始された化学的汚染基準については、化学的汚染物質の測定、残留塩素の測定など本学会の水質基準へのコンプライアンスが徐々に向上していた。

透析モダリティについてはHDF療法の持続的な増加、PDの増加等、多様化が進んでいる。わが国の特色であるPDの併用療法の比率は約20%であり、ここ数年変わりはない。

2020年調査では、新規調査項目として、社会的に最も重大な課題となっている新型コロナウイルス感染症について、透析患者における調査が行われた。透析患者においては3月に初めての陽性患者が報告されたが、その後、感染者数は一般人口と同様の推移を示した。透析患者においては、若年者から致死率が高いという特徴がみられた。腹膜透析患者・非糖尿病患者で、感染率、致死率が低い傾向にあったが、患者背景で調査を行った上での検証が望まれる。

また、2020年調査では、悪性腫瘍の罹患率が調査された。悪性腫瘍の調査は1987年以來の調査である。今回は男女別、部位別に現在罹患中の悪性腫瘍の割合が明らかにされた。男性では6.0%、女性では4.5%の有病率であった。男性では前立腺を含む腎・泌尿器系が、女性では乳腺内分泌系が最も多く、次いで、男女とも消化器系が第2位の割合を占めた。悪性腫瘍に対して早期発見・治療が行われるようになり、死因では明らかにならなかった悪性腫瘍の現状に関する情報が得られた。

2019年に引き続き調査された腎提供有無について、2020年調査では、腎提供の既往ありと答えた施設に再度問い合わせを行うなど、より厳密に調査が行われた。提供後、透析導入までの期間が短い患者割合が減少しており、調査の正確性が向上したことが示唆される。その結果、最終的に107人の患者が腎提供の既往が有りとされた。これらの患者についての詳細な評価から、生体腎ドナーの健康に関するより有用な情報が得られることが期待される。

今回、調査した新規調査項目の結果は、いずれも現在の腎代替療法における課題を明らかにした。患者背景因子の調整による、より詳細な検討から、透析患者におけるこれらの疾患・病態の特徴が明確化されることが期待される。

最後に、新型コロナウイルス感染症対応で大変な負担があるなか、例年にもまして詳細なご回答をいただいたことに対して、各ご施設の担当者の方々に深くお礼を申し上げたい。

### ■地域協力員（敬称略）

（北海道）前野七門，（青森）大山 力，（岩手）清野耕治，（宮城）佐藤壽伸，（秋田）佐藤 滋，（山形）伊東 稔，（福島）風間順一郎，（茨城）植田敦志，（栃木）齋藤 修，（群馬）安藤哲郎，（埼玉）小川智也，（埼玉）熊谷裕生，（千葉）寺脇博之，（千葉）林 晃一，（東京）安藤亮一，（東京）阿部雅紀，（東京）柏木哲也，（東京）濱田千江子，（神奈川）柴垣有吾，（神奈川）平和伸仁，（新潟）島田久基，（富山）石田陽一，（石川）横山 仁，（福井）宮崎良一，（山梨）深澤瑞也，（長野）上條祐司，（岐阜）松岡哲平，（静岡）加藤明彦，（静岡）森 典子，（愛知）伊藤恭彦，（愛知）春日弘毅，（三重）小藪助成，（滋賀）有村徹朗，（京都）橋本哲也，（大阪）稲葉雅章，（大阪）林 晃正，（大阪）山川智之，（兵庫）西 慎一，（兵庫）藤森 明，（奈良）米田龍生，（和歌山）根木茂雄，（鳥取）中岡明久，（鳥根）伊藤孝史，（岡山）杉山 斉，（広島）正木崇生，（山口）新田 豊，（徳島）岡田一義，（香川）山中正人，（愛媛）菅 政治，（高知）大田和道，（福岡）田村雅仁，（福岡）満生浩司，（佐賀）池田裕次，（長崎）錦戸雅春，（熊本）宮田 昭，（大分）友 雅司，（宮崎）藤元昭一，（鹿児島）野崎 剛，（沖縄）大城吉則

## 文献

- 1) 中井滋. 日本透析医学会統計調査の歴史. 透析会誌 2010; 43: 119-52.
- 2) 政金生人. 透析療法の動向～統計調査から見えてくるもの～. 透析会誌 2016; 49: 211-8.
- 3) 和田篤志, 新田孝作, 花房規男, 他. WADDA system の使用法と有効活用. 透析会誌 2019; 52: 673-8.
- 4) 厚生労働省, 文部科学省. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」  
[https://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1443\\_01.pdf](https://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1443_01.pdf) (2021.11.15 最終アクセス)
- 5) 厚生労働省, 文部科学省. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成29年2月28日一部改正）」  
[https://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1859\\_01.pdf](https://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1859_01.pdf) (2021.11.15 最終アクセス)
- 6) [https://upload.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr\\_view.cgi?recptno=R000021578](https://upload.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000021578) (2021.11.15 最終アクセス)
- 7) 中井滋, 若井建志, 山縣邦弘, 井関邦敏, 椿原美治. わが国の慢性維持透析人口将来推計の試み. 透析会誌 2012; 45: 599-613.
- 8) United States Renal Data System. 2020 USRDS Annual Data Report: Epidemiology of kidney disease in the United States. National Institutes of Health, National Institute of Diabetes and Digestive and Kidney Diseases, Bethesda, MD, 2020.
- 9) 新田孝作, 政金生人, 花房規夫, 他. わが国の慢性透析療法の現況（2017年12月31日現在）. 透析会誌 2018; 51: 699-766.
- 10) 秋葉隆, 川西秀樹, 峰島三千男, 他. 透析液水質基準と血液浄化器性能評価基準 2008. 透析会誌 2008; 41: 159-67.
- 11) 峰島三千男, 川西秀樹, 阿瀬智暢, 川崎忠行, 友雅司, 中元秀友. 2016年版透析液水質基準. 透析会誌 2016; 49: 697-725.
- 12) 新田孝作, 政金生人, 花房規男, 他. わが国の慢性透析療法の現況（2019年12月31日現在）. 透析会誌 2020; 53: 579-632.
- 13) 厚生労働省, 令和元年（2019）人口動態統計月報年計（概数）の概況.  
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai19/dl/h7.pdf> (2021.11.15 最終アクセス)
- 14) 小高通夫. わが国の透析療法の現況（1988）. 透析会誌 1989; 22: 221-304.
- 15) Zeier M, Hartschuh W, Wiesel M, Lehnert T, Ritz E. Malignancy after renal transplantation. Am J Kidney Dis 2002; 39: 1-12.
- 16) Vajdic CM, McDonald SP, McCredie MRE, et al. Cancer incidence before and after kidney transplantation. JAMA 2006; 296: 2823-31.
- 17) Shebl FM, Warren JL, Eggers PW, Engels EA. Cancer risk among elderly persons with end-stage renal disease: a population-based case-control study. BMC Nephrol 2012; 13: 65.
- 18) Kantor AF, Hoover RN, Kinlen LJ, McMullan MR, Fraumeni JF Jr. Cancer in patients receiving long-term dialysis treatment. Am J Epidemiol 1987; 126: 370-6.
- 19) 日本臨床腎移植学会, 日本移植学会. 腎移植臨床登録集計報告（2020）2019年実施症例の集計報告と追跡調査結果. 移植 2020; 55: 225-43.

## 補 足 表

補足表1 慢性透析患者数（1968-2020）と有病率（人口100万対比，1983-2020）および透析コンソール台数（1966-2020）の推移

※4月 ★8月																
年	1966 /12	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982
透析コンソール台数	48	105★	206★	606	1,575	3,022	4,986	5,515	7,246	9,204	10,545	12,569	16,519	18,963	21,032	22,939
慢性透析患者数	-	215※	301※	949	1,826	3,631	6,148	9,245	13,059	18,010	22,579	27,048	32,331	36,397	42,223	47,978

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
透析コンソール台数	24,474	26,558	28,715	30,846	33,527	36,447	34,099	40,723	45,682	49,650	53,262	58,561	59,715	63,742	66,880	69,733	75,448	79,709	83,914
慢性透析患者数	53,017	59,811	66,310	73,537	80,553	88,534	83,221	103,296	116,303	123,926	134,298	143,709	154,413	167,192	175,988	185,322	197,213	206,134	219,183
人口100万人対患者数	443.7	497.5	547.8	604.4	658.8	721.1	790.0	835.7	937.6	995.8	1,076.4	1,149.4	1,229.7	1,328.4	1,394.9	1,465.2	1,556.7	1,624.1	1,721.9

年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
透析コンソール台数	89,070	92,710	97,366	100,552	104,382	108,583	111,998	114,979	118,622	121,863	125,003	128,150	131,555	133,538	135,211	137,248	139,887	141,520	143,772
慢性透析患者数	229,538	237,710	248,166	257,765	264,473	275,242	283,421	290,661	298,252	304,856	310,007	314,438	320,448	324,986	329,609	334,505	339,841	344,640	347,671
人口100万人対患者数	1,801.2	1,862.7	1,943.5	2,017.6	2,069.9	2,154.2	2,219.6	2,279.5	2,329.1	2,385.4	2,431.1	2,470.1	2,521.6	2,557.0	2,596.7	2,640.0	2,687.7	2,731.6	2,754.3

(施設調査による集計)

補足表2 導入患者数と死亡患者数および慢性透析患者数の推移，1983-2020

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
年間導入患者数	11,348	12,606	13,416	14,175	14,699	16,470	14,174	18,411	20,877	22,475	23,874	24,296	26,398	28,409	28,870	29,641	31,483	32,018	33,243
年間死亡患者数	4,538	5,000	5,770	6,296	6,581	7,765	6,766	8,939	9,722	11,621	12,143	13,187	14,406	15,174	16,102	16,687	18,524	18,938	19,850
慢性透析患者数	53,017	59,811	66,310	73,537	80,553	88,534	83,221	103,296	116,303	123,926	134,298	143,709	154,413	167,192	175,988	185,322	197,213	206,134	219,183

年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
年間導入患者数	33,710	33,966	35,084	36,063	36,373	36,934	38,180	37,566	37,512	38,613	38,055	38,095	38,327	39,462	39,344	40,959	40,468	40,885	40,744
年間死亡患者数	20,614	21,672	22,715	23,983	24,034	25,253	27,266	27,646	28,882	30,743	30,710	30,751	30,707	31,068	31,790	32,532	33,863	34,642	34,414
慢性透析患者数	229,538	237,710	248,166	257,765	264,473	275,242	283,421	290,661	298,252	304,856	310,007	314,438	320,448	324,986	329,609	334,505	339,841	344,640	347,671

(施設調査による集計)

補足表3 HD・HDF患者数の推移，2009-2020

治療方法	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
施設血液透析	253,807	262,973	270,072	268,275	264,211	255,641	248,725	233,704	218,760	194,479	180,111	165,336
On-line HDF (%)	6,852 (40.7)	4,829 (32.5)	4,890 (34.6)	14,069 (64.8)	23,536 (75.0)	36,090 (83.4)	44,527 (82.8)	59,116 (79.0)	70,604 (76.8)	86,231 (70.9)	98,934 (70.3)	111,609 (70.0)
Off-line HDF (%)	9,299 (55.2)	9,421 (63.4)	8,573 (60.7)	7,157 (32.9)	7,149 (22.8)	6,315 (14.6)	5,332 (9.9)	4,637 (6.2)	3,961 (4.3)	3,514 (2.9)	2,913 (2.1)	2,355 (1.5)
Push/Pull HDF (%)	237 (1.4)	159 (1.1)	145 (1.0)	109 (0.5)	263 (0.8)	537 (1.2)	110 (0.2)	66 (0.1)	36 (0.0)	45 (0.0)	36 (0.0)	138 (0.1)
AFBF (%)	465 (2.8)	458 (3.1)	507 (3.6)	390 (1.8)	423 (1.3)	341 (0.8)	267 (0.5)	252 (0.3)	242 (0.3)	163 (0.1)	150 (0.1)	133 (0.1)
IHDF (%)							3,540 (6.6)	10,728 (14.3)	17,105 (18.6)	31,681 (26.0)	38,697 (27.5)	45,162 (28.3)
HDF 合計 (%)	16,853 (100.0)	14,867 (100.0)	14,115 (100.0)	21,725 (100.0)	31,371 (100.0)	43,283 (100.0)	53,776 (100.0)	74,799 (100.0)	91,948 (100.0)	121,634 (100.0)	140,730 (100.0)	159,397 (100.0)
HD・HDF 合計	270,660	277,840	284,187	290,000	295,582	298,924	302,501	308,503	310,708	316,113	320,841	324,733

(患者調査による集計)

補足表4 慢性透析患者 年齢と性別, 2020

年齢	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
5歳未満	24 (0.0)	22 (0.0)	46 (0.0)	0	46 (0.0)
5歳～	14 (0.0)	11 (0.0)	25 (0.0)	0	25 (0.0)
10歳～	15 (0.0)	6 (0.0)	21 (0.0)	0	21 (0.0)
15歳～	31 (0.0)	20 (0.0)	51 (0.0)	0	51 (0.0)
20歳～	134 (0.1)	61 (0.1)	195 (0.1)	0	195 (0.1)
25歳～	339 (0.2)	171 (0.1)	510 (0.2)	0	510 (0.2)
30歳～	905 (0.4)	381 (0.3)	1,286 (0.4)	0	1,286 (0.4)
35歳～	2,155 (1.0)	911 (0.8)	3,066 (0.9)	0	3,066 (0.9)
40歳～	4,689 (2.1)	1,855 (1.6)	6,544 (1.9)	0	6,544 (1.9)
45歳～	10,007 (4.5)	3,833 (3.4)	13,840 (4.1)	0	13,840 (4.1)
50歳～	14,672 (6.6)	5,674 (5.0)	20,346 (6.0)	0	20,346 (6.0)
55歳～	18,650 (8.4)	7,543 (6.6)	26,193 (7.8)	0	26,193 (7.8)
60歳～	22,157 (10.0)	9,683 (8.5)	31,840 (9.5)	0	31,840 (9.5)
65歳～	30,598 (13.8)	14,960 (13.1)	45,558 (13.5)	0	45,558 (13.5)
70歳～	41,772 (18.8)	21,138 (18.5)	62,910 (18.7)	0	62,910 (18.7)
75歳～	32,304 (14.5)	17,657 (15.5)	49,961 (14.8)	0	49,961 (14.8)
80歳～	25,265 (11.4)	15,329 (13.4)	40,594 (12.1)	0	40,594 (12.1)
85歳～	14,374 (6.5)	10,537 (9.2)	24,911 (7.4)	0	24,911 (7.4)
90歳～	3,951 (1.8)	3,837 (3.4)	7,788 (2.3)	0	7,788 (2.3)
95歳～	454 (0.2)	620 (0.5)	1,074 (0.3)	0	1,074 (0.3)
合計	222,510 (100.0)	114,249 (100.0)	336,759 (100.0)	0	336,759 (100.0)
不明	0	0	0	0	0
記載なし	0	0	0	0	0
総計	222,510	114,249	336,759	0	336,759
平均	68.60	70.97	69.40		69.40
標準偏差	12.45	12.48	12.51		12.51

(患者調査による集計)

補足表5 慢性透析患者 平均年齢の推移, 1983-2020

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
慢性透析患者 平均年齢	48.25	49.22	50.27	51.11	52.08	52.95	53.75	54.53	55.29	55.98	56.65	57.31	57.96	58.63	59.23	59.93	60.55	61.19	61.60
年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
慢性透析患者 平均年齢	62.19	62.75	63.32	63.88	64.38	64.87	65.33	65.76	66.21	66.55	66.87	67.21	67.54	67.86	68.15	68.43	68.75	69.09	69.40

(患者調査による集計)



補足表6 慢性透析患者 年齢分布の推移, 1982-2020

年齢	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
～19歳	849	683	628	527	517	587	505	438	470	606	580	576	596	579	555	546	516	473	417	388
20～29歳	3,050	3,060	2,972	2,900	2,758	2,927	2,703	2,512	2,656	2,985	2,947	3,001	3,153	3,125	3,240	3,177	3,028	2,846	2,809	2,572
30～39歳	9,378	10,191	10,790	11,490	11,695	12,285	11,089	9,782	9,611	9,913	9,426	9,340	9,123	8,984	8,842	8,934	8,857	8,541	8,953	8,910
40～49歳	10,668	12,030	13,399	14,609	15,493	18,495	19,671	20,011	22,088	25,169	25,751	26,510	27,355	28,420	29,267	28,019	26,087	23,958	23,371	22,601
50～59歳	9,835	11,783	13,512	15,648	17,418	21,196	22,221	22,254	25,259	30,444	32,392	35,043	37,711	39,047	41,068	43,463	46,401	48,113	51,868	53,261
60～64歳	3,346	4,101	5,086	6,094	6,931	8,943	9,922	10,496	12,296	15,045	16,596	18,069	20,056	21,817	23,550	25,052	25,838	25,965	28,155	29,890
65～69歳	2,633	3,107	3,628	4,469	5,066	6,382	7,177	7,837	9,388	12,060	13,566	15,612	17,600	19,572	21,635	23,484	25,160	26,208	29,022	30,473
70～74歳	1,657	2,232	2,788	3,437	3,975	4,899	5,339	5,497	6,669	8,370	9,371	10,756	12,450	14,016	16,277	18,597	20,607	22,066	25,001	26,212
75～79歳	668	955	1,258	1,662	2,021	2,896	3,377	3,853	4,608	5,891	6,550	7,350	8,126	9,200	10,471	11,738	13,282	14,657	16,953	18,466
80～89歳	180	256	369	541	725	1,179	1,430	1,730	2,384	3,252	3,872	4,787	6,003	7,052	8,366	9,344	10,650	11,679	13,978	15,034
90歳～	2	4	10	12	14	43	52	62	68	92	124	181	219	313	354	473	599	724	933	984

年齢	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
～19歳	389	308	274	253	227	232	215	215	179	183	215	210	226	207	188	171	156	155	143
20～29歳	2,427	2,246	2,039	1,842	1,653	1,571	1,454	1,346	1,260	1,221	1,119	1,027	928	866	816	834	777	716	705
30～39歳	8,896	8,860	8,681	8,228	8,371	8,235	7,960	7,687	7,312	7,009	6,674	6,251	5,789	5,459	5,206	4,891	4,721	4,458	4,352
40～49歳	21,895	21,227	20,454	19,798	19,530	20,203	20,385	20,690	20,999	21,360	21,534	21,837	21,901	21,674	22,365	21,842	21,459	21,034	20,384
50～59歳	54,600	55,504	55,390	55,779	56,711	55,424	52,730	49,874	47,261	45,802	44,593	43,933	43,263	43,064	43,195	44,003	44,661	45,472	46,539
60～64歳	31,358	33,417	34,975	33,666	33,492	36,939	39,849	42,982	46,894	48,955	47,162	44,032	40,352	37,925	36,197	34,129	33,453	32,708	31,840
65～69歳	32,733	33,747	34,759	35,290	37,469	39,521	41,922	43,932	43,160	42,203	45,664	49,118	52,259	55,981	58,289	55,199	52,064	48,274	45,558
70～74歳	28,638	30,564	32,198	33,966	35,862	38,861	40,096	41,173	42,638	44,581	45,430	47,622	49,367	47,728	47,143	50,604	54,318	58,433	62,910
75～79歳	20,961	23,248	25,272	26,767	28,552	31,638	33,565	35,605	37,951	39,700	41,255	41,937	42,251	43,032	45,215	46,053	48,836	51,316	49,961
80～89歳	16,785	18,714	20,639	22,765	25,663	29,090	32,133	35,174	38,028	40,681	43,578	46,210	48,746	51,716	54,398	57,116	59,392	61,872	65,505
90歳～	1,284	1,550	1,824	2,100	2,363	2,636	2,924	3,301	3,762	4,036	4,314	4,736	5,005	5,560	6,095	6,674	7,499	8,161	8,862

(患者調査による集計)

補足表7 慢性透析患者 透析歴と性別, 2020

透析歴	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
5年未満	110,480 (49.7)	49,211 (43.1)	159,691 (47.5)	0	159,691 (47.5)
5年～	56,356 (25.3)	27,883 (24.4)	84,239 (25.0)	0	84,239 (25.0)
10年～	26,803 (12.1)	14,947 (13.1)	41,750 (12.4)	0	41,750 (12.4)
15年～	13,325 (6.0)	8,950 (7.8)	22,275 (6.6)	0	22,275 (6.6)
20年～	7,295 (3.3)	5,793 (5.1)	13,088 (3.9)	0	13,088 (3.9)
25年～	4,132 (1.9)	3,552 (3.1)	7,684 (2.3)	0	7,684 (2.3)
30年～	2,173 (1.0)	2,065 (1.8)	4,238 (1.3)	0	4,238 (1.3)
35年～	1,142 (0.5)	1,141 (1.0)	2,283 (0.7)	0	2,283 (0.7)
40年～	652 (0.3)	627 (0.5)	1,279 (0.4)	0	1,279 (0.4)
合計	222,358 (100.0)	114,169 (100.0)	336,527 (100.0)	0	336,527 (100.0)
不明	152	79	231	0	231
記載なし	0	1	1	0	1
総計	222,510	114,249	336,759	0	336,759
平均	6.84	8.41	7.37		7.37
標準偏差	7.25	8.51	7.73		7.73

(患者調査による集計)

最長透析歴	52年4か月
-------	--------



補足表8 慢性透析患者 透析歴分布の推移，1988-2020

透析歴	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
～4年	47,087	46,617	52,327	63,584	65,835	71,547	77,690	82,757	89,049	93,402	97,230	99,120	106,993	107,803	113,075	117,116	120,159
5～9年	22,423	22,238	24,472	27,709	29,775	31,340	33,162	35,145	37,524	39,781	42,163	43,365	47,792	50,888	53,766	56,169	58,357
10～14年	11,783	12,285	13,704	15,418	16,438	17,102	18,228	18,934	19,820	20,604	21,052	21,150	22,826	24,050	25,376	26,710	27,738
15～19年	2,441	3,485	5,089	6,974	8,429	9,479	10,436	11,142	11,755	12,193	12,600	12,594	13,199	13,765	14,206	14,463	14,453
20～24年	28	95	242	566	1,170	2,001	3,035	4,202	5,364	6,308	6,952	7,342	8,024	8,450	8,765	8,992	9,034
25年～	0	0	0	2	8	23	75	193	448	874	1,485	2,114	3,076	4,080	5,008	5,996	6,865

透析歴	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
～4年	121,803	124,576	130,708	133,827	136,934	139,371	141,076	143,360	145,064	146,085	148,017	150,706	152,416	155,367	158,123	159,691
5～9年	59,295	62,117	66,076	68,617	71,251	73,320	75,073	75,991	77,197	77,862	77,801	79,145	79,590	81,119	82,416	84,239
10～14年	28,550	30,318	32,270	33,696	35,074	36,338	37,588	38,547	39,490	40,032	40,060	40,556	40,397	40,868	41,413	41,750
15～19年	14,605	15,419	16,472	17,265	18,111	18,852	19,534	20,238	20,874	21,213	21,555	22,094	22,239	22,358	22,380	22,275
20～24年	8,838	9,252	9,603	9,815	9,876	10,335	10,629	11,015	11,421	11,802	12,031	12,484	12,536	12,746	12,952	13,088
25年～	7,422	8,275	9,227	10,017	10,750	11,233	11,835	12,307	12,766	13,028	13,360	13,829	14,133	14,596	15,016	15,484

(患者調査による集計)

補足表9 慢性透析患者 原疾患と性別，2020

原疾患	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
慢性糸球体腎炎	51,956 (23.3)	33,183 (29.0)	85,139 (25.3)	0	85,139 (25.3)
慢性腎盂腎炎	871 (0.4)	910 (0.8)	1,781 (0.5)	0	1,781 (0.5)
間質性腎炎	469 (0.2)	538 (0.5)	1,007 (0.3)	0	1,007 (0.3)
急速進行性糸球体腎炎	1,563 (0.7)	1,643 (1.4)	3,206 (1.0)	0	3,206 (1.0)
その他の分類不能の腎炎	751 (0.3)	504 (0.4)	1,255 (0.4)	0	1,255 (0.4)
多発性嚢胞腎	6,709 (3.0)	5,596 (4.9)	12,305 (3.7)	0	12,305 (3.7)
遺伝性疾患	515 (0.2)	268 (0.2)	783 (0.2)	0	783 (0.2)
腎硬化症	27,826 (12.5)	13,005 (11.4)	40,831 (12.1)	0	40,831 (12.1)
悪性高血圧	2,029 (0.9)	879 (0.8)	2,908 (0.9)	0	2,908 (0.9)
妊娠高血圧症候群	0 (0.0)	1,266 (1.1)	1,266 (0.4)	0	1,266 (0.4)
糖尿病性腎症	96,219 (43.2)	36,884 (32.3)	133,103 (39.5)	0	133,103 (39.5)
自己免疫性疾患に伴う腎炎	614 (0.3)	1,305 (1.1)	1,919 (0.6)	0	1,919 (0.6)
アミロイドーシスによる腎障害	193 (0.1)	238 (0.2)	431 (0.1)	0	431 (0.1)
痛風腎	905 (0.4)	144 (0.1)	1,049 (0.3)	0	1,049 (0.3)
腎・尿路結核	67 (0.0)	72 (0.1)	139 (0.0)	0	139 (0.0)
ウイルス感染症に伴う腎疾患	59 (0.0)	29 (0.0)	88 (0.0)	0	88 (0.0)
腎・尿路結石	388 (0.2)	230 (0.2)	618 (0.2)	0	618 (0.2)
腎・尿路腫瘍	842 (0.4)	239 (0.2)	1,081 (0.3)	0	1,081 (0.3)
閉塞性尿路障害・排尿障害	565 (0.3)	253 (0.2)	818 (0.2)	0	818 (0.2)
パラプロテイン血症(骨髄腫等)	132 (0.1)	84 (0.1)	216 (0.1)	0	216 (0.1)
急性腎障害	394 (0.2)	228 (0.2)	622 (0.2)	0	622 (0.2)
外因性腎障害	329 (0.1)	164 (0.1)	493 (0.1)	0	493 (0.1)
先天性腎尿路異常	395 (0.2)	216 (0.2)	611 (0.2)	0	611 (0.2)
原疾患不明	21,783 (9.8)	12,465 (10.9)	34,248 (10.2)	0	34,248 (10.2)
移植後再導入	1,482 (0.7)	774 (0.7)	2,256 (0.7)	0	2,256 (0.7)
その他	5,454 (2.5)	3,130 (2.7)	8,584 (2.5)	0	8,584 (2.5)
合計	222,510 (100.0)	114,247 (100.0)	336,757 (100.0)	0	336,757 (100.0)
記載なし	0	2	2	0	2
総計	222,510	114,249	336,759	0	336,759

(患者調査による集計)

補足表 10 慢性透析患者 原疾患割合の推移, 1983-2020

原疾患	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
糖尿病性腎症	7.4	8.4	9.4	10.5	11.7	12.8	14.0	14.9	16.4	17.1	18.2	19.2	20.4	21.6	22.7	24.0	25.1	26.0	27.2
慢性糸球体腎炎	74.5	72.1	72.3	70.6	69.4	67.9	65.9	64.1	61.7	60.4	58.8	57.7	56.6	55.4	54.1	52.5	51.1	49.7	49.6
腎硬化症	1.5	1.7	1.9	2.0	2.1	2.1	2.3	2.6	2.9	3.1	3.4	3.6	3.8	4.0	4.2	4.4	4.5	4.8	5.0
多発性嚢胞腎	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3
慢性腎盂腎炎, 間質性腎炎	3.1	3.3	2.6	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4
急速進行性糸球体腎炎	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
自己免疫性疾患に伴う腎炎	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0
不明	2.2	2.3	2.3	2.5	2.6	2.5	2.6	2.6	2.9	2.9	2.9	3.1	3.2	3.6	3.9	4.2	4.4	5.0	5.6

原疾患	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
糖尿病性腎症	28.1	29.2	30.2	31.4	32.3	33.4	34.2	35.1	35.9	36.7	37.1	37.6	38.1	38.4	38.8	39.0	39.0	39.1	39.5
慢性糸球体腎炎	48.2	46.6	45.1	43.6	42.2	40.4	39.0	37.6	36.2	34.8	33.6	32.4	31.3	29.8	28.8	27.8	26.8	25.7	25.3
腎硬化症	5.1	5.3	5.7	5.9	6.2	6.5	6.8	7.1	7.5	7.9	8.3	8.7	9.1	9.5	9.9	10.3	10.8	11.4	12.1
多発性嚢胞腎	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7
慢性腎盂腎炎, 間質性腎炎	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8
急速進行性糸球体腎炎	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	1.0
自己免疫性疾患に伴う腎炎	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6
不明	5.9	6.3	6.4	6.6	7.0	7.4	7.6	7.7	8.0	8.2	8.5	8.7	8.9	9.5	9.8	10.2	10.7	11.1	10.2

(患者調査による集計)

補足表 11 慢性透析患者 死亡原因と性別, 2020

死因	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
心不全	4,844 (21.8)	2,562 (23.6)	7,406 (22.4)	0	7,406 (22.4)
脳血管障害	1,252 (5.6)	684 (6.3)	1,936 (5.9)	0	1,936 (5.9)
感染症	4,981 (22.4)	2,145 (19.8)	7,126 (21.5)	0	7,126 (21.5)
消化管出血	289 (1.3)	165 (1.5)	454 (1.4)	0	454 (1.4)
悪性腫瘍	2,250 (10.1)	738 (6.8)	2,988 (9.0)	0	2,988 (9.0)
悪液質/尿毒症/老衰等	1,130 (5.1)	927 (8.5)	2,057 (6.2)	0	2,057 (6.2)
心筋梗塞	891 (4.0)	362 (3.3)	1,253 (3.8)	0	1,253 (3.8)
カリウム中毒/頓死	438 (2.0)	156 (1.4)	594 (1.8)	0	594 (1.8)
肝硬変症	170 (0.8)	56 (0.5)	226 (0.7)	0	226 (0.7)
自殺/拒否	140 (0.6)	60 (0.6)	200 (0.6)	0	200 (0.6)
腸閉塞	194 (0.9)	132 (1.2)	326 (1.0)	0	326 (1.0)
血液疾患	95 (0.4)	56 (0.5)	151 (0.5)	0	151 (0.5)
肺疾患	557 (2.5)	183 (1.7)	740 (2.2)	0	740 (2.2)
災害・事故死	103 (0.5)	24 (0.2)	127 (0.4)	0	127 (0.4)
その他	2,250 (10.1)	1,418 (13.1)	3,668 (11.1)	0	3,668 (11.1)
不明	2,639 (11.9)	1,178 (10.9)	3,817 (11.5)	0	3,817 (11.5)
合計	22,223 (100.0)	10,846 (100.0)	33,069 (100.0)	0	33,069 (100.0)
記載なし	16	9	25	0	25
総計	22,239	10,855	33,094	0	33,094

(患者調査による集計)

補足表 12 慢性透析患者 死亡原因割合の推移, 1983-2020

死因	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
心不全	30.3	30.5	31.3	33.2	32.7	36.5	33.4	30.4	30.5	31.1	29.9	28.2	25.4	24.1	23.9	24.1	24.3	23.2	25.5
感染症	11.0	11.5	11.5	12.0	12.0	12.2	11.7	11.6	12.1	11.3	12.2	12.6	13.8	14.6	14.9	15.0	16.3	16.6	16.3
脳血管障害	14.2	15.4	14.2	14.0	14.2	12.9	13.2	13.9	13.7	13.6	13.5	14.1	13.5	12.9	12.6	12.1	11.3	11.3	11.6
悪性腫瘍	7.7	6.9	6.4	6.9	5.8	6.9	7.6	8.2	7.6	7.1	7.4	7.3	7.2	7.7	8.1	7.7	7.6	8.3	8.5
心筋梗塞	5.3	4.8	5.3	6.1	6.0	5.4	5.3	5.8	5.8	5.8	5.7	7.1	7.5	7.4	8.4	7.9	7.4	7.0	7.4

死因	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
心不全	25.1	25.0	25.1	25.8	24.9	24.0	23.7	23.6	27.0	26.6	27.2	26.8	26.3	26.0	25.7	24.0	23.5	22.7	22.4
感染症	15.9	18.5	18.8	19.2	19.9	18.9	19.9	20.7	20.3	20.3	20.4	20.8	20.9	22.0	21.9	21.1	21.3	21.5	21.5
脳血管障害	11.2	10.7	10.6	9.8	9.4	8.9	8.6	8.4	8.1	7.7	7.5	7.2	7.1	6.6	6.5	6.0	6.0	5.7	5.9
悪性腫瘍	8.5	8.5	9.0	9.0	9.2	9.2	9.2	9.4	9.8	9.1	9.1	9.4	9.0	9.3	9.7	9.0	8.4	8.7	9.0
心筋梗塞	7.4	6.2	5.4	5.1	4.4	4.4	4.1	4.0	4.7	4.6	4.5	4.3	4.3	4.3	3.9	3.8	3.6	3.9	3.8

(患者調査による集計)

補足表 13 慢性透析患者 粗死亡率の推移, 1983-2020

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
粗死亡率(%)	9.0	8.9	9.1	9.0	8.5	9.2	7.9	9.6	8.9	9.7	9.4	9.5	9.7	9.4	9.4	9.2	9.7	9.2	9.3

年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
粗死亡率(%)	9.2	9.3	9.4	9.5	9.2	9.4	9.8	9.6	9.8	10.2	10.0	9.8	9.7	9.6	9.7	9.8	10.0	10.1	9.9

(施設調査による集計)

補足表 14 導入患者 年齢と性別, 2020

年齢	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
5歳未満	9 (0.0)	6 (0.1)	15 (0.0)	0	15 (0.0)
5歳～	3 (0.0)	1 (0.0)	4 (0.0)	0	4 (0.0)
10歳～	4 (0.0)	2 (0.0)	6 (0.0)	0	6 (0.0)
15歳～	12 (0.0)	5 (0.0)	17 (0.0)	0	17 (0.0)
20歳～	27 (0.1)	16 (0.1)	43 (0.1)	0	43 (0.1)
25歳～	70 (0.3)	34 (0.3)	104 (0.3)	0	104 (0.3)
30歳～	148 (0.5)	53 (0.5)	201 (0.5)	0	201 (0.5)
35歳～	297 (1.1)	115 (1.0)	412 (1.1)	0	412 (1.1)
40歳～	589 (2.2)	221 (1.9)	810 (2.1)	0	810 (2.1)
45歳～	1,092 (4.0)	355 (3.1)	1,447 (3.8)	0	1,447 (3.8)
50歳～	1,490 (5.5)	523 (4.5)	2,013 (5.2)	0	2,013 (5.2)
55歳～	1,846 (6.8)	620 (5.4)	2,466 (6.4)	0	2,466 (6.4)
60歳～	2,154 (8.0)	699 (6.0)	2,853 (7.4)	0	2,853 (7.4)
65歳～	3,090 (11.5)	1,160 (10.0)	4,250 (11.0)	0	4,250 (11.0)
70歳～	4,682 (17.4)	1,846 (16.0)	6,528 (16.9)	0	6,528 (16.9)
75歳～	4,327 (16.0)	1,920 (16.6)	6,247 (16.2)	0	6,247 (16.2)
80歳～	3,993 (14.8)	1,928 (16.7)	5,921 (15.4)	0	5,921 (15.4)
85歳～	2,389 (8.9)	1,548 (13.4)	3,937 (10.2)	0	3,937 (10.2)
90歳～	685 (2.5)	452 (3.9)	1,137 (2.9)	0	1,137 (2.9)
95歳～	76 (0.3)	62 (0.5)	138 (0.4)	0	138 (0.4)
合計	26,983 (100.0)	11,566 (100.0)	38,549 (100.0)	0	38,549 (100.0)
不明	0	0	0	0	0
記載なし	0	0	0	0	0
総計	26,983	11,566	38,549	0	38,549
平均	70.19	72.48	70.88		70.88
標準偏差	13.17	13.30	13.25		13.25

(患者調査による集計)

補足表 15 導入患者 平均年齢の推移, 1983-2020

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
導入患者 平均年齢	51.92	53.18	54.41	55.09	55.93	56.89	57.40	58.09	58.15	59.52	59.80	60.43	61.01	61.51	62.22	62.68	63.38	63.78	64.24
年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
導入患者 平均年齢	64.68	65.35	65.76	66.20	66.40	66.81	67.24	67.31	67.79	67.84	68.45	68.67	69.04	69.20	69.40	69.68	69.99	70.42	70.88

(患者調査による集計)

補足表 16 導入患者 原疾患と性別, 2020

原疾患	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
慢性糸球体腎炎	3,713 (13.8)	2,051 (17.7)	5,764 (15.0)	0	5,764 (15.0)
慢性腎盂腎炎	63 (0.2)	57 (0.5)	120 (0.3)	0	120 (0.3)
間質性腎炎	61 (0.2)	66 (0.6)	127 (0.3)	0	127 (0.3)
急速進行性糸球体腎炎	314 (1.2)	297 (2.6)	611 (1.6)	0	611 (1.6)
その他の分類不能の腎炎	86 (0.3)	45 (0.4)	131 (0.3)	0	131 (0.3)
多発性嚢胞腎	482 (1.8)	402 (3.5)	884 (2.3)	0	884 (2.3)
遺伝性疾患	40 (0.1)	30 (0.3)	70 (0.2)	0	70 (0.2)
腎硬化症	4,862 (18.0)	1,875 (16.2)	6,737 (17.5)	0	6,737 (17.5)
悪性高血圧	192 (0.7)	79 (0.7)	271 (0.7)	0	271 (0.7)
妊娠高血圧症候群	0 (0.0)	27 (0.2)	27 (0.1)	0	27 (0.1)
糖尿病性腎症	11,700 (43.4)	3,990 (34.5)	15,690 (40.7)	0	15,690 (40.7)
自己免疫性疾患に伴う腎炎	60 (0.2)	107 (0.9)	167 (0.4)	0	167 (0.4)
アミロイドーシスによる腎障害	53 (0.2)	55 (0.5)	108 (0.3)	0	108 (0.3)
痛風腎	55 (0.2)	15 (0.1)	70 (0.2)	0	70 (0.2)
腎・尿路結核	4 (0.0)	4 (0.0)	8 (0.0)	0	8 (0.0)
ウイルス感染症に伴う腎疾患	14 (0.1)	5 (0.0)	19 (0.0)	0	19 (0.0)
腎・尿路結石	37 (0.1)	34 (0.3)	71 (0.2)	0	71 (0.2)
腎・尿路腫瘍	163 (0.6)	38 (0.3)	201 (0.5)	0	201 (0.5)
閉塞性尿路障害・排尿障害	84 (0.3)	28 (0.2)	112 (0.3)	0	112 (0.3)
パラプロテイン血症(骨髄腫等)	40 (0.1)	21 (0.2)	61 (0.2)	0	61 (0.2)
急性腎障害	249 (0.9)	136 (1.2)	385 (1.0)	0	385 (1.0)
外因性腎障害	109 (0.4)	43 (0.4)	152 (0.4)	0	152 (0.4)
先天性腎尿路異常	21 (0.1)	5 (0.0)	26 (0.1)	0	26 (0.1)
原疾患不明	3,595 (13.3)	1,708 (14.8)	5,303 (13.8)	0	5,303 (13.8)
移植後再導入	140 (0.5)	63 (0.5)	203 (0.5)	0	203 (0.5)
その他	846 (3.1)	385 (3.3)	1,231 (3.2)	0	1,231 (3.2)
合計	26,983 (100.0)	11,566 (100.0)	38,549 (100.0)	0	38,549 (100.0)
記載なし	0	0	0	0	0
総計	26,983	11,566	38,549	0	38,549

(患者調査による集計)

補足表 17 導入患者 原疾患割合の推移, 1983-2020

原疾患	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
糖尿病性腎症	15.6	17.4	19.6	21.3	22.1	24.3	26.5	26.2	28.1	28.4	29.9	30.7	31.9	33.1	33.9	35.7	36.2	36.6	38.1
慢性糸球体腎炎	60.5	58.7	56.0	54.8	54.2	49.9	47.4	46.1	44.2	42.2	41.4	40.5	39.4	38.9	36.6	35.0	33.6	32.5	32.4
腎硬化症	3.0	3.3	3.5	3.7	3.9	3.9	4.1	5.4	5.5	5.9	6.2	6.1	6.3	6.4	6.8	6.7	7.0	7.6	7.6
多発性嚢胞腎	2.8	2.8	3.1	2.9	3.2	3.1	3.1	2.9	3.0	2.7	2.6	2.5	2.4	2.5	2.4	2.4	2.2	2.4	2.3
慢性腎盂腎炎, 間質性腎炎	2.4	2.2	2.1	2	1.8	1.8	1.5	1.5	1.7	1.6	1.1	1.4	1.2	1.1	1.2	1.1	1.1	1.0	1.1
急速進行性糸球体腎炎	0.9	0.7	0.9	1.0	0.8	0.9	0.8	0.7	0.6	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	1.1	0.9	0.9	1.0	1.0
自己免疫性疾患に伴う腎炎	1.1	1.1	1.1	1.2	0.9	0.9	1.0	1.1	1.3	1.3	1.2	1.2	1.1	1.3	1.0	1.1	1.2	0.9	1.0
不明	4.4	4.0	4.8	4.2	4.1	3.8	4.0	3.3	3.7	3.7	3.3	3.9	4.5	5.0	5.5	5.6	6.1	7.6	9.0

原疾患	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
糖尿病性腎症	39.1	41.0	41.3	42.0	42.9	43.4	43.3	44.5	43.6	44.3	44.2	43.8	43.5	43.7	43.2	42.5	42.3	41.6	40.7
慢性糸球体腎炎	31.9	29.1	28.1	27.4	25.6	23.8	22.8	21.9	21.0	20.2	19.4	18.8	17.8	16.9	16.6	16.3	15.6	14.9	15.0
腎硬化症	7.8	8.5	8.8	9.0	9.4	10.0	10.6	10.7	11.7	11.8	12.3	13.1	14.2	14.2	14.2	14.7	15.6	16.4	17.5
多発性嚢胞腎	2.4	2.3	2.7	2.3	2.4	2.3	2.5	2.3	2.4	2.5	2.5	2.5	2.7	2.6	2.6	2.6	2.5	2.4	2.3
慢性腎盂腎炎, 間質性腎炎	0.9	1.0	0.9	1.0	0.8	0.8	0.7	0.7	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6
急速進行性糸球体腎炎	1.1	1.2	1.1	1.1	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.3	1.3	1.6	1.5	1.5	1.6
自己免疫性疾患に伴う腎炎	0.9	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4
不明	8.4	8.8	9.3	9.5	9.9	10.2	10.6	10.7	10.7	10.9	11.0	11.3	11.3	12.2	12.8	13.2	13.5	13.9	13.8

(患者調査による集計)

補足表 18 導入患者 死亡原因と性別, 2020

死因	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)	記載なし	総計 (%)
心不全	311 (19.0)	144 (22.3)	455 (19.9)	0	455 (19.9)
脳血管障害	84 (5.1)	36 (5.6)	120 (5.3)	0	120 (5.3)
感染症	446 (27.2)	155 (24.0)	601 (26.3)	0	601 (26.3)
消化管出血	27 (1.6)	9 (1.4)	36 (1.6)	0	36 (1.6)
悪性腫瘍	188 (11.5)	61 (9.5)	249 (10.9)	0	249 (10.9)
悪液質/尿毒症/老衰等	73 (4.5)	35 (5.4)	108 (4.7)	0	108 (4.7)
心筋梗塞	46 (2.8)	18 (2.8)	64 (2.8)	0	64 (2.8)
カリウム中毒/頓死	20 (1.2)	6 (0.9)	26 (1.1)	0	26 (1.1)
肝硬変症	27 (1.6)	11 (1.7)	38 (1.7)	0	38 (1.7)
自殺/拒否	18 (1.1)	8 (1.2)	26 (1.1)	0	26 (1.1)
腸閉塞	14 (0.9)	7 (1.1)	21 (0.9)	0	21 (0.9)
血液疾患	22 (1.3)	5 (0.8)	27 (1.2)	0	27 (1.2)
肺疾患	53 (3.2)	14 (2.2)	67 (2.9)	0	67 (2.9)
災害・事故死	9 (0.5)	1 (0.2)	10 (0.4)	0	10 (0.4)
その他	184 (11.2)	85 (13.2)	269 (11.8)	0	269 (11.8)
不明	118 (7.2)	50 (7.8)	168 (7.4)	0	168 (7.4)
合計	1,640 (100.0)	645 (100.0)	2,285 (100.0)	0	2,285 (100.0)
記載なし	1	2	3	0	3
総計	1,641	647	2,288	0	2,288

(患者調査による集計)

補足表 19 導入患者 死亡原因割合の推移, 1990-2020

死因	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
心不全	32.3	33.4	32.6	32.3	30.0	26.9	22.6	23.4	24.4	23.3	22.8	26.0	24.6	23.9	23.3	24.3
感染症	14.1	15.7	12.6	14.2	14.5	16.6	18.7	17.8	18.3	19.8	19.7	19.4	21.1	23.8	23.6	23.7
脳血管障害	10.8	9.5	8.8	8.9	8.6	9.5	8.2	9.2	7.4	7.1	7.3	8.2	7.4	7.6	6.3	6.5
悪性腫瘍	8.6	7.4	7.5	7.5	8.4	7.8	9.1	9.0	6.4	8.3	9.2	9.3	9.3	9.5	9.1	9.4
心筋梗塞	3.8	4.6	4.5	3.7	5.6	5.5	5.2	6.0	5.1	5.1	4.8	5.2	5.3	4.2	3.8	3.8
死因	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
心不全	22.8	23.2	24.1	21.8	24.9	25.0	25.5	23.8	23.8	24.7	22.1	20.8	23.5	22.0	19.9	
感染症	26.4	24.2	25.2	26.1	26.5	24.5	25.7	26.0	25.8	25.8	26.4	25.9	24.0	24.2	26.3	
脳血管障害	5.9	5.5	5.1	5.4	4.8	5.4	5.2	6.1	4.5	5.7	5.9	4.5	4.7	4.7	5.3	
悪性腫瘍	10.4	10.3	9.8	10.4	12.5	11.6	10.6	12.1	11.4	10.9	12.2	10.8	10.9	9.7	10.9	
心筋梗塞	3.2	3.5	2.8	3.5	3.0	3.5	2.8	3.0	3.3	2.8	2.9	3.2	2.7	3.1	2.8	

(患者調査による集計)

補足表 20 透析施設における (a) 透析液 ET 測定頻度と (b) ET 濃度, 2020

ET 測定値	毎日	毎週	隔週	毎月	年数回	年1回	なし	合計	不明	記載なし	総計
0.001 EU/mL 未満 (%)	28 (0.7)	164 (4.4)	214 (5.7)	2,814 (75.1)	235 (6.3)	290 (7.7)	0 (0.0)	3,745 (100.0)	1	0	3,746
0.001~0.01 EU/mL 未満 (%)	2 (0.6)	19 (5.5)	20 (5.7)	247 (71.0)	28 (8.0)	32 (9.2)	0 (0.0)	348 (100.0)	0	0	348
0.01~0.05 EU/mL 未満 (%)	1 (0.6)	7 (4.5)	7 (4.5)	116 (75.3)	12 (7.8)	11 (7.1)	0 (0.0)	154 (100.0)	0	0	154
0.05~0.1 EU/mL 未満 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (2.4)	33 (78.6)	3 (7.1)	5 (11.9)	0 (0.0)	42 (100.0)	0	0	42
0.1~0.25 EU/mL 未満 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	24 (82.8)	2 (6.9)	3 (10.3)	0 (0.0)	29 (100.0)	1	0	30
0.25~0.5 EU/mL 未満 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	18 (94.7)	1 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	19 (100.0)	0	0	19
0.5 EU/mL 以上 (%)	0 (0.0)	4 (21.1)	1 (5.3)	8 (42.1)	2 (10.5)	4 (21.1)	0 (0.0)	19 (100.0)	0	0	19
合計 (%)	31 (0.7)	194 (4.5)	243 (5.6)	3,260 (74.8)	283 (6.5)	345 (7.9)	0 (0.0)	4,356 (100.0)	2	0	4,358
不明 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (13.9)	4 (11.1)	1 (2.8)	26 (72.2)	36 (100.0)	20	0	56
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (100.0)	8 (100.0)	0	0	8
総計 (%)	31 (0.7)	194 (4.4)	243 (5.5)	3,265 (74.2)	287 (6.5)	346 (7.9)	34 (0.8)	4,400 (100.0)	22	0	4,422

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 21 透析施設における透析液 ET 測定頻度の推移, 2006-2020

ET 測定頻度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
月1回以上 (%)	953 (27.3)	1,153 (31.5)	1,253 (33.1)	1,373 (36.0)	2,810 (70.6)	2,914 (71.9)	3,141 (76.3)	3,238 (77.7)	3,329 (78.7)	3,424 (80.9)	3,526 (82.9)	3,601 (83.6)	3,784 (86.6)	3,804 (86.9)	3,733 (84.8)
月1回未満 (%)	2,535 (72.7)	2,511 (68.5)	2,531 (66.9)	2,436 (64.0)	1,170 (29.4)	1,137 (28.1)	977 (23.7)	929 (22.3)	900 (21.3)	809 (19.1)	728 (17.1)	704 (16.4)	587 (13.4)	575 (13.1)	667 (15.2)
合計 (%)	3,488 (100.0)	3,664 (100.0)	3,784 (100.0)	3,809 (100.0)	3,980 (100.0)	4,051 (100.0)	4,118 (100.0)	4,167 (100.0)	4,229 (100.0)	4,233 (100.0)	4,254 (100.0)	4,305 (100.0)	4,371 (100.0)	4,379 (100.0)	4,400 (100.0)
不明	185	209	244	193	92	99	77	65	69	63	63	38	15	17	22
記載なし	312	179	53	48	52	27	8	3	6	7	1	3	2	0	0
総計	3,985	4,052	4,081	4,050	4,124	4,177	4,203	4,235	4,304	4,303	4,318	4,346	4,388	4,396	4,422

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 22 透析施設における透析液 ET 濃度の推移, 2006-2020

ET 濃度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
0.001 EU/mL 未満 (%)	817 (29.8)	1,688 (53.0)	— —	1,865 (56.1)	2,343 (62.1)	2,549 (66.0)	2,787 (70.7)	2,963 (73.9)	3,167 (77.6)	3,268 (79.5)	3,406 (82.2)	3,446 (82.3)	3,645 (84.4)	3,647 (84.2)	3,746 (86.0)
0.001 EU/mL 以上 0.05 EU/mL 未満 (%)	1,627 (59.2)	1,295 (40.6)	— —	933 (28.1)	1,115 (29.6)	1,042 (27.0)	938 (23.8)	849 (21.2)	759 (18.6)	718 (17.5)	619 (14.9)	600 (14.3)	554 (12.8)	556 (12.8)	502 (11.5)
0.05 EU/mL 以上 (%)	302 (11.0)	203 (6.4)	— —	527 (15.8)	314 (8.3)	271 (7.0)	216 (5.5)	195 (4.9)	153 (3.8)	123 (3.0)	119 (2.9)	142 (3.4)	121 (2.8)	126 (2.9)	110 (2.5)
合計 (%)	2,746 (100.0)	3,186 (100.0)	— —	3,325 (100.0)	3,772 (100.0)	3,862 (100.0)	3,941 (100.0)	4,007 (100.0)	4,079 (100.0)	4,109 (100.0)	4,144 (100.0)	4,188 (100.0)	4,320 (100.0)	4,329 (100.0)	4,358 (100.0)
不明	—	215	—	253	105	112	197	148	164	131	128	131	49	56	56
記載なし	1,239	651	—	472	247	203	65	80	61	63	46	27	19	11	8
総計	3,985	4,052	—	4,050	4,124	4,177	4,203	4,235	4,304	4,303	4,318	4,346	4,388	4,396	4,422

※ 2008年は単位表記を EU/L→EU/mL に変更した年。誤記入が多かったと思われるため出力せず

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 23 透析施設における (a) 透析液生菌数の測定頻度と (b) 生菌数, 2020

生菌数	毎日	毎週	隔週	毎月	年数回	年1回	なし	合計	不明	記載なし	総計
0.1 cfu/mL 未満 (%)	10 (0.3)	152 (4.4)	206 (5.9)	2,586 (74.3)	223 (6.4)	302 (8.7)	0 (0.0)	3,479 (100.0)	2	0	3,481
0.1 cfu/mL～ (%)	0 (0.0)	11 (3.0)	19 (5.2)	284 (77.4)	29 (7.9)	24 (6.5)	0 (0.0)	367 (100.0)	0	0	367
1 cfu/mL～ (%)	2 (0.7)	13 (4.7)	14 (5.1)	199 (72.1)	20 (7.2)	28 (10.1)	0 (0.0)	276 (100.0)	0	0	276
10 cfu/mL～ (%)	0 (0.0)	3 (2.1)	5 (3.4)	110 (75.3)	14 (9.6)	14 (9.6)	0 (0.0)	146 (100.0)	0	0	146
100 cfu/mL 以上 (%)	0 (0.0)	2 (9.1)	3 (13.6)	14 (63.6)	1 (4.5)	2 (9.1)	0 (0.0)	22 (100.0)	1	0	23
合計 (%)	12 (0.3)	181 (4.2)	247 (5.8)	3,193 (74.4)	287 (6.7)	370 (8.6)	0 (0.0)	4,290 (100.0)	3	0	4,293
不明 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	18 (23.1)	3 (3.8)	3 (3.8)	52 (66.7)	78 (100.0)	26	0	104
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	25 (100.0)	25 (100.0)	0	0	25
総計 (%)	12 (0.3)	181 (4.1)	249 (5.7)	3,211 (73.1)	290 (6.6)	373 (8.5)	77 (1.8)	4,393 (100.0)	29	0	4,422

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設



補足表 24 透析施設における透析液生菌数の測定頻度の推移, 2006-2020

生菌数測定頻度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
月1回以上 (%)	371 (11.5)	580 (16.9)	751 (20.8)	934 (25.8)	2,649 (67.8)	2,794 (70.0)	3,018 (73.7)	3,091 (74.7)	3,148 (74.8)	3,189 (75.7)	3,276 (77.3)	3,488 (81.3)	3,718 (85.3)	3,725 (85.2)	3,653 (83.2)
月1回未満 (%)	2,857 (88.5)	2,861 (83.1)	2,856 (79.2)	2,693 (74.2)	1,260 (32.2)	1,196 (30.0)	1,077 (26.3)	1,046 (25.3)	1,059 (25.2)	1,023 (24.3)	963 (22.7)	801 (18.7)	643 (14.7)	649 (14.8)	740 (16.8)
合計 (%)	3,228 (100.0)	3,441 (100.0)	3,607 (100.0)	3,627 (100.0)	3,909 (100.0)	3,990 (100.0)	4,095 (100.0)	4,137 (100.0)	4,207 (100.0)	4,212 (100.0)	4,239 (100.0)	4,289 (100.0)	4,361 (100.0)	4,374 (100.0)	4,393 (100.0)
不明	386	412	418	367	158	159	100	94	90	84	78	54	25	22	29
記載なし	371	199	56	56	57	28	8	4	7	7	1	3	2	0	0
総計	3,985	4,052	4,081	4,050	4,124	4,177	4,203	4,235	4,304	4,303	4,318	4,346	4,388	4,396	4,422

(施設調査による集計)  
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 25 透析施設における透析液生菌数の推移, 2006-2020

生菌数	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
0.1 cfu/mL 未満 (%)	508 (48.4)	750 (47.9)	915 (50.7)	1,123 (54.5)	1,819 (53.1)	2,017 (56.4)	2,397 (63.8)	2,570 (67.1)	2,811 (71.5)	2,905 (73.2)	3,057 (76.1)	3,129 (76.8)	3,361 (79.1)	3,364 (78.9)	3,481 (81.1)
0.1 cfu/mL 以上 100 cfu/mL 未満 (%)	509 (48.5)	775 (49.5)	847 (46.9)	901 (43.7)	1,542 (45.0)	1,498 (41.9)	1,305 (34.7)	1,214 (31.7)	1,079 (27.5)	1,037 (26.1)	930 (23.2)	902 (22.2)	853 (20.1)	869 (20.4)	789 (18.4)
100 cfu/mL 以上 (%)	32 (3.1)	40 (2.6)	43 (2.4)	38 (1.8)	62 (1.8)	62 (1.7)	55 (1.5)	46 (1.2)	40 (1.0)	24 (0.6)	28 (0.7)	41 (1.0)	34 (0.8)	28 (0.7)	23 (0.5)
合計 (%)	1,049 (100.0)	1,565 (100.0)	1,805 (100.0)	2,062 (100.0)	3,423 (100.0)	3,577 (100.0)	3,757 (100.0)	3,830 (100.0)	3,930 (100.0)	3,966 (100.0)	4,015 (100.0)	4,072 (100.0)	4,248 (100.0)	4,261 (100.0)	4,293 (100.0)
不明	2,036	552	575	494	216	227	320	273	264	227	232	225	112	115	104
記載なし	900	1,935	1,701	1,494	485	373	126	132	110	110	71	49	28	20	25
総計	3,985	4,052	4,081	4,050	4,124	4,177	4,203	4,235	4,304	4,303	4,318	4,346	4,388	4,396	4,422

(施設調査による集計)  
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 26 透析施設における透析液 ET 濃度と生菌数, 2020

生菌数	0.001 EU/mL 未満	0.001~0.01 EU/mL 未満	0.01~0.05 EU/mL 未満	0.05~0.1 EU/mL 未満	0.1~0.25 EU/mL 未満	0.25~0.5 EU/mL 未満	0.5 EU/mL 以上	合計	不明	記載なし	総計
0.1 cfu/mL 未満 (%)	3,323 (95.6)	110 (3.2)	32 (0.9)	5 (0.1)	3 (0.1)	1 (0.0)	3 (0.1)	3,477 (100.0)	4	0	3,481
0.1 cfu/mL~ (%)	202 (55.3)	123 (33.7)	27 (7.4)	5 (1.4)	1 (0.3)	6 (1.6)	1 (0.3)	365 (100.0)	2	0	367
1 cfu/mL~ (%)	119 (43.1)	70 (25.4)	54 (19.6)	16 (5.8)	7 (2.5)	4 (1.4)	6 (2.2)	276 (100.0)	0	0	276
10 cfu/mL~ (%)	53 (36.3)	28 (19.2)	31 (21.2)	12 (8.2)	13 (8.9)	6 (4.1)	3 (2.1)	146 (100.0)	0	0	146
100 cfu/mL 以上 (%)	7 (31.8)	5 (22.7)	5 (22.7)	0 (0.0)	2 (9.1)	0 (0.0)	3 (13.6)	22 (100.0)	1	0	23
合計 (%)	3,704 (86.4)	336 (7.8)	149 (3.5)	38 (0.9)	26 (0.6)	17 (0.4)	16 (0.4)	4,286 (100.0)	7	0	4,293
不明 (%)	30 (54.5)	9 (16.4)	5 (9.1)	3 (5.5)	3 (5.5)	2 (3.6)	3 (5.5)	55 (100.0)	48	1	104
記載なし (%)	12 (70.6)	3 (17.6)	0 (0.0)	1 (5.9)	1 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	17 (100.0)	1	7	25
総計 (%)	3,746 (86.0)	348 (8.0)	154 (3.5)	42 (1.0)	30 (0.7)	19 (0.4)	19 (0.4)	4,358 (100.0)	56	8	4,422

(施設調査による集計)  
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 27 透析施設における超純粋透析液および標準透析液達成率の推移，2009-2020

年	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
超純粋透析液 (ET 濃度 0.001EU/mL 未満かつ 生菌数 0.1cfu/mL 未満) の施設 (%)	866 (43.1)	1,512 (44.4)	1,735 (48.7)	2,152 (57.5)	2,325 (60.8)	2,602 (66.4)	2,704 (68.3)	2,863 (71.4)	2,942 (72.4)	3,168 (74.6)	3,189 (74.9)	3,323 (77.5)
標準透析液 (ET 濃度 0.05EU/mL 未満かつ 生菌数 100cfu/mL 未満) の施設 (%)	1,725 (85.9)	3,124 (91.8)	3,307 (92.8)	3,525 (94.2)	3,624 (94.8)	3,753 (95.8)	3,833 (96.8)	3,888 (97.0)	3,912 (96.3)	4,118 (97.0)	4,125 (96.9)	4,172 (97.3)

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール 1 台以上保有する施設

補足表 28 透析施設における透析用水の供給水源の推移，2017-2020

供給水源	2017	2018	2019	2020
水道水 (%)	3,668 (85.2)	3,700 (84.6)	3,701 (84.6)	3,703 (84.1)
地下水 (%)	377 (8.8)	391 (8.9)	365 (8.3)	384 (8.7)
ブレンド (%)	251 (5.8)	273 (6.2)	301 (6.9)	305 (6.9)
その他 (%)	10 (0.2)	9 (0.2)	7 (0.2)	9 (0.2)
合計 (%)	4,306 (100.0)	4,373 (100.0)	4,374 (100.0)	4,401 (100.0)
不明	36	14	21	21
記載なし	4	1	4	0
総計	4,346	4,388	4,396	4,422

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール 1 台以上保有する施設

補足表 29 透析施設における残留塩素の測定頻度の推移，2017-2020

残留塩素 測定頻度	2017	2018	2019	2020
毎日 (%)	2,377 (55.7)	2,587 (59.7)	2,691 (61.9)	2,803 (63.9)
週 1 回 (%)	927 (21.7)	913 (21.1)	895 (20.6)	889 (20.3)
月数回 (%)	74 (1.7)	67 (1.5)	68 (1.6)	64 (1.5)
月 1 回 (%)	225 (5.3)	215 (5.0)	196 (4.5)	171 (3.9)
年数回 (%)	120 (2.8)	103 (2.4)	92 (2.1)	93 (2.1)
年 1 回 (%)	34 (0.8)	35 (0.8)	30 (0.7)	27 (0.6)
なし (%)	510 (12.0)	410 (9.5)	375 (8.6)	337 (7.7)
合計 (%)	4,267 (100.0)	4,330 (100.0)	4,347 (100.0)	4,384 (100.0)
不明	75	56	49	38
記載なし	4	2	0	0
総計	4,346	4,388	4,396	4,422

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール 1 台以上保有する施設

補足表 30 透析施設における残留塩素の測定方法の推移，2017-2020

残留塩素 測定方法	2017	2018	2019	2020
遊離塩素と総塩素 (%)	1,275 (32.2)	1,494 (36.6)	1,604 (38.7)	1,706 (40.6)
遊離塩素のみ (%)	1,812 (45.7)	1,652 (40.4)	1,566 (37.8)	1,468 (35.0)
総塩素のみ (%)	799 (20.2)	880 (21.5)	910 (22.0)	951 (22.7)
その他 (%)	79 (2.0)	61 (1.5)	60 (1.4)	73 (1.7)
合計 (%)	3,965 (100.0)	4,087 (100.0)	4,140 (100.0)	4,198 (100.0)
不明	328	221	201	174
記載なし	53	80	55	50
総計	4,346	4,388	4,396	4,422

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール 1 台以上保有する施設

補足表 31 日本透析医学会化学的汚染基準の認知度の推移，2017-2020

化学的汚染基準の 認知度	2017	2018	2019	2020
よく知っている (%)	815 (19.2)	901 (20.9)	914 (21.2)	979 (22.5)
知っている (%)	2,638 (62.2)	2,780 (64.5)	2,777 (64.4)	2,803 (64.5)
あまり知らない (%)	677 (16.0)	544 (12.6)	550 (12.8)	491 (11.3)
全く知らない (%)	112 (2.6)	87 (2.0)	72 (1.7)	71 (1.6)
合計 (%)	4,242 (100.0)	4,312 (100.0)	4,313 (100.0)	4,344 (100.0)
不明	97	74	80	78
記載なし	7	2	3	0
総計	4,346	4,388	4,396	4,422

(施設調査による集計)

集計対象：透析コンソール 1 台以上保有する施設

補足表 32 日本透析医学会化学的汚染基準の測定頻度の推移, 2017-2020

化学的汚染基準の測定頻度	2017	2018	2019	2020
月1回 (%)	272 (6.6)	243 (5.8)	282 (6.7)	304 (7.2)
年数回 (%)	374 (9.1)	369 (8.9)	379 (9.1)	417 (9.9)
年1回 (%)	1,544 (37.6)	1,769 (42.6)	1,795 (42.9)	1,777 (42.3)
数年に1回 (%)	378 (9.2)	465 (11.2)	509 (12.2)	493 (11.7)
その他 (%)	190 (4.6)	187 (4.5)	179 (4.3)	178 (4.2)
なし (%)	1,348 (32.8)	1,124 (27.0)	1,042 (24.9)	1,035 (24.6)
合計 (%)	4,106 (100.0)	4,157 (100.0)	4,186 (100.0)	4,204 (100.0)
不明	234	228	206	217
記載なし	6	3	4	1
総計	4,346	4,388	4,396	4,422

(施設調査による集計)  
集計対象：透析コンソール1台以上保有する施設

補足表 33 新型コロナウイルス検査の有無と治療方法, 2020

治療方法	検査していない, または抗体 検査のみ	検査実施 (陰性)	検査実施 (陽性)	合計	不明	記載なし	総計
施設血液透析 (%)	119,470 (88.7)	14,777 (11.0)	483 (0.4)	134,730 (100.0)	1,262	29,344	165,336
血液透析濾過 (%)	119,095 (90.5)	12,159 (9.2)	288 (0.2)	131,542 (100.0)	463	27,392	159,397
血液濾過 (%)	12 (85.7)	2 (14.3)	0 (0.0)	14 (100.0)	0	0	14
血液吸着透析 (%)	1,089 (89.7)	123 (10.1)	2 (0.2)	1,214 (100.0)	7	173	1,394
在宅血液透析 (%)	520 (88.9)	65 (11.1)	0 (0.0)	585 (100.0)	4	146	735
腹膜透析 (%)	5,992 (87.3)	853 (12.4)	16 (0.2)	6,861 (100.0)	115	2,907	9,883
合計 (%)	246,178 (89.5)	27,979 (10.2)	789 (0.3)	274,946 (100.0)	1,851	59,962	336,759
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
総計 (%)	246,178 (89.5)	27,979 (10.2)	789 (0.3)	274,946 (100.0)	1,851	59,962	336,759

(患者調査による集計)

補足表 34 新型コロナウイルス感染患者 性別、年齢と致死率、2020

		15歳未満	15歳～	30歳～	45歳～	60歳～	75歳～	90歳～	合計	不明	記載なし	総計
感染者数（人）	男性	0	3	38	161	257	210	13	682	0	0	682
	女性	0	0	7	28	90	128	15	268	0	0	268
	合計	0	3	45	189	347	338	28	950	0	0	950
うち、死亡数（人）	男性	0	0	1	10	38	61	4	114	0	0	114
	女性	0	0	1	3	13	26	4	47	0	0	47
	合計	0	0	2	13	51	87	8	161	0	0	161
致死率（％）		0.0	0.0	4.4	6.9	14.7	25.7	28.6	16.9	0.0	0.0	16.9

(患者調査による集計)

補足表 35 新型コロナウイルス感染者 陽性診断月、2020

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	不明	記載なし	総計
感染者数（人）	男性	12	21	11	2	19	63	35	32	110	307	612	0	70	682
	女性	2	17	5	4	6	23	13	10	37	122	239	0	29	268
	合計	14	38	16	6	25	86	48	42	147	429	851	0	99	950
うち、死亡数（人）	男性	1	8	7	0	1	19	7	3	23	34	103	0	11	114
	女性	0	5	1	1	0	7	1	1	9	18	43	0	4	47
	合計	1	13	8	1	1	26	8	4	32	52	146	0	15	161
致死率（％）		7.1	34.2	50.0	16.7	4.0	30.2	16.7	9.5	21.8	12.1	17.2	0.0	15.2	16.9

(患者調査による集計)

補足表 36 年末時点での悪性腫瘍の有無と性別、2020

性別	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
男性 （％）	154,774 (94.0)	9,867 (6.0)	164,641 (100.0)	3,048	54,821	222,510
女性 （％）	80,453 (95.5)	3,777 (4.5)	84,230 (100.0)	1,567	28,452	114,249
合計 （％）	235,227 (94.5)	13,644 (5.5)	248,871 (100.0)	4,615	83,273	336,759
記載なし （％）	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
総計 （％）	235,227 (94.5)	13,644 (5.5)	248,871 (100.0)	4,615	83,273	336,759

(患者調査による集計)

補足表 37 悪性腫瘍の有無がりの患者 年末時点での悪性腫瘍の種類と性別、2020

性別	年末時点での悪性腫瘍の種類（1人につき3つまで回答可）											悪性腫瘍の種類に回答がある患者数	悪性腫瘍の種類に回答がない患者数	合計
	中枢神経系	頭頸部系	呼吸器系	消化器系	肝胆膵系	乳腺・内分泌系	女性器系	腎泌尿器系	血液系	その他	不明			
男性 *1 （％）	48 (0.5)	195 (2.1)	1,380 (14.7)	2,764 (29.5)	1,053 (11.2)	175 (1.9)	0 (0.0)	4,105 (43.8)	601 (6.4)	317 (3.4)	22 (0.2)	9,376	491	9,867
女性 （％）	17 (0.5)	52 (1.4)	490 (13.7)	912 (25.4)	350 (9.8)	927 (25.8)	366 (10.2)	522 (14.5)	240 (6.7)	165 (4.6)	21 (0.6)	3,588	189	3,777
*2 延べ合計 （％）	65 (0.5)	247 (1.9)	1,870 (14.4)	3,676 (28.4)	1,403 (10.8)	1,102 (8.5)	366 (2.8)	4,627 (35.7)	841 (6.5)	482 (3.7)	43 (0.3)	12,964	680	13,644
記載なし （％）	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
*2 延べ総計 （％）	65 (0.5)	247 (1.9)	1,870 (14.4)	3,676 (28.4)	1,403 (10.8)	1,102 (8.5)	366 (2.8)	4,627 (35.7)	841 (6.5)	482 (3.7)	43 (0.3)	12,964	680	13,644

(患者調査による集計)

- \*1 数値下の（）内％は、すべての有効回答に対する集計用分類が選択された回答割合です。悪性腫瘍の有無は1人につき3つまで回答としたため、割合の合計は100％とは限りません。  
 \*2 悪性腫瘍の有無は1人につき3つまで回答としたため、合計数は回答の延べ合計、総計数は回答の延べ総計です。回答患者数ではないことにご注意ください。  
 同一患者が同じ分類の異なる癌種を複数選択された場合にも、延べ合計（複数カウント）で表示されています。

補足表 38 悪性腫瘍の有無がりの患者 年末時点での悪性腫瘍の種類と年齢，2020

年齢	年末時点での悪性腫瘍の種類（1人につき3つまで回答可）												悪性腫瘍の種類に回答がある患者数	悪性腫瘍の種類に回答がない患者数	合計
	中枢神経系	頭頸部系	呼吸器系	消化器系	肝胆膵系	乳腺・内分泌系	女性器系	腎泌尿器系	血液系	その他	不明				
15歳未満 *1 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1	0	1
15歳～ (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (33.3)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	3	1	4
30歳～ (%)	0 (0.0)	2 (1.7)	9 (7.5)	9 (7.5)	6 (5.0)	29 (24.2)	12 (10.0)	36 (30.0)	13 (10.8)	9 (7.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	120	17	137
45歳～ (%)	9 (0.8)	21 (1.8)	99 (8.4)	254 (21.5)	93 (7.9)	200 (17.0)	100 (8.5)	366 (31.0)	102 (8.7)	67 (5.7)	6 (0.5)	0 (0.0)	1,179	75	1,254
60歳～ (%)	34 (0.7)	97 (1.9)	777 (14.9)	1,497 (28.6)	658 (12.6)	444 (8.5)	148 (2.8)	1,738 (33.3)	381 (7.3)	173 (3.3)	17 (0.3)	0 (0.0)	5,227	296	5,523
75歳～ (%)	22 (0.4)	123 (2.1)	921 (15.4)	1,776 (29.8)	607 (10.2)	378 (6.3)	99 (1.7)	2,316 (38.8)	321 (5.4)	209 (3.5)	18 (0.3)	0 (0.0)	5,962	276	6,238
90歳～ (%)	0 (0.0)	4 (0.8)	64 (13.6)	140 (29.7)	39 (8.3)	50 (10.6)	7 (1.5)	170 (36.0)	23 (4.9)	23 (4.9)	2 (0.4)	0 (0.0)	472	15	487
*2 延べ合計 (%)	65 (0.5)	247 (1.9)	1,870 (14.4)	3,676 (28.4)	1,403 (10.8)	1,102 (8.5)	366 (2.8)	4,627 (35.7)	841 (6.5)	482 (3.7)	43 (0.3)	0 (0.0)	12,964	680	13,644
不明 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
*2 延べ総計 (%)	65 (0.5)	247 (1.9)	1,870 (14.4)	3,676 (28.4)	1,403 (10.8)	1,102 (8.5)	366 (2.8)	4,627 (35.7)	841 (6.5)	482 (3.7)	43 (0.3)	0 (0.0)	12,964	680	13,644
平均	70.85	73.38	74.78	74.52	73.70	69.98	66.68	74.47	71.51	72.55	72.74	0	71.96	73.55	
標準偏差	9.52	9.59	9.17	9.49	9.18	12.50	12.20	10.09	10.50	12.04	10.68	0	11.21	10.40	

(患者調査による集計)

- \*1 数値下の( )内%は、すべての有効回答に対する集計用分類が選択された回答割合です。悪性腫瘍の有無は1人につき3つまで回答としたため、割合の合計は100%とは限りません。  
\*2 悪性腫瘍の有無は1人につき3つまで回答としたため、合計数は回答の延べ合計、総計数は回答の延べ総計です。回答患者数ではない事にご注意ください。  
同一患者が同じ分類の異なる癌腫を複数選択された場合にも、延べ合計（複数カウント）で表示されています。

補足表 39 悪性腫瘍の有無がりの患者 年末時点での悪性腫瘍の種類と透析歴，2020

透析歴	年末時点での悪性腫瘍の種類（1人につき3つまで回答可）												悪性腫瘍の種類に回答がある患者数	悪性腫瘍の種類に回答がない患者数	合計
	中枢神経系	頭頸部系	呼吸器系	消化器系	肝胆膵系	乳腺・内分泌系	女性器系	腎泌尿器系	血液系	その他	不明				
2年未満 *1 (%)	13 (0.4)	57 (1.8)	488 (15.5)	926 (29.3)	384 (12.2)	202 (6.4)	64 (2.0)	1,104 (35.0)	275 (8.7)	107 (3.4)	7 (0.2)	0 (0.0)	3,156	183	3,339
2年～ (%)	14 (0.4)	64 (1.9)	493 (14.9)	1,028 (31.0)	406 (12.2)	235 (7.1)	68 (2.1)	1,106 (33.3)	230 (6.9)	122 (3.7)	13 (0.4)	0 (0.0)	3,317	149	3,466
5年～ (%)	12 (0.4)	52 (1.7)	459 (15.1)	915 (30.1)	331 (10.9)	245 (8.1)	75 (2.5)	1,010 (33.2)	179 (5.9)	112 (3.7)	14 (0.5)	0 (0.0)	3,040	165	3,205
10年～ (%)	11 (0.7)	33 (2.2)	195 (13.0)	444 (29.7)	135 (9.0)	130 (8.7)	66 (4.4)	537 (35.9)	68 (4.5)	51 (3.4)	4 (0.3)	0 (0.0)	1,495	83	1,578
15年～ (%)	4 (0.5)	23 (2.9)	99 (12.5)	173 (21.8)	66 (8.3)	93 (11.7)	38 (4.8)	329 (41.4)	34 (4.3)	37 (4.7)	3 (0.4)	0 (0.0)	795	44	839
20年～ (%)	5 (1.0)	10 (1.9)	50 (9.6)	89 (17.1)	31 (6.0)	87 (16.7)	26 (5.0)	244 (46.8)	26 (5.0)	24 (4.6)	1 (0.2)	0 (0.0)	521	23	544
25年～ (%)	1 (0.3)	5 (1.7)	41 (14.1)	50 (17.2)	23 (7.9)	44 (15.1)	9 (3.1)	137 (47.1)	12 (4.1)	11 (3.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	291	15	306
30年～ (%)	2 (1.0)	2 (1.0)	23 (11.5)	27 (13.5)	9 (4.5)	40 (20.0)	14 (7.0)	98 (49.0)	10 (5.0)	11 (5.5)	1 (0.5)	0 (0.0)	200	12	212
35年～ (%)	2 (2.2)	0 (0.0)	15 (16.1)	13 (14.0)	8 (8.6)	20 (21.5)	4 (4.3)	35 (37.6)	5 (5.4)	4 (4.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	93	4	97
40年～ (%)	1 (1.9)	0 (0.0)	6 (11.5)	9 (17.3)	9 (17.3)	6 (11.5)	2 (3.8)	26 (50.0)	2 (3.8)	3 (5.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	52	2	54
*2 延べ合計 (%)	65 (0.5)	246 (1.9)	1,869 (14.4)	3,674 (28.3)	1,402 (10.8)	1,102 (8.5)	366 (2.8)	4,627 (35.7)	841 (6.5)	482 (3.7)	43 (0.3)	0 (0.0)	12,960	680	13,640
不明 (%)	0 (0.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4	0	4
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
*2 延べ総計 (%)	65 (0.5)	247 (1.9)	1,870 (14.4)	3,676 (28.4)	1,403 (10.8)	1,102 (8.5)	366 (2.8)	4,627 (35.7)	841 (6.5)	482 (3.7)	43 (0.3)	0 (0.0)	12,964	680	13,644
平均	9.88	7.01	6.63	6.15	6.06	9.88	9.94	7.97	5.67	7.85	6.84	0	7.10	7.20	
標準偏差	10.12	6.90	7.54	6.66	7.25	9.75	9.29	8.60	7.20	8.56	6.48	0	7.80	7.93	

(患者調査による集計)

- \*1 数値下の( )内%は、すべての有効回答に対する集計用分類が選択された回答割合です。悪性腫瘍の有無は1人につき3つまで回答としたため、割合の合計は100%とは限りません。  
\*2 悪性腫瘍の有無は1人につき3つまで回答としたため、合計数は回答の延べ合計、総計数は回答の延べ総計です。回答患者数ではない事にご注意ください。  
同一患者が同じ分類の異なる癌腫を複数選択された場合にも、延べ合計（複数カウント）で表示されています。

補足表 40 ドナーとしての腎提供の既往と性別，2020

性別	提供なし	提供あり	合計	不明	記載なし	総計
男性 (%)	163,802 (100.0)	57 (0.0)	163,859 (100.0)	2,148	56,503	222,510
女性 (%)	83,782 (99.9)	50 (0.1)	83,832 (100.0)	1,004	29,413	114,249
合計 (%)	247,584 (100.0)	107 (0.0)	247,691 (100.0)	3,152	85,916	336,759
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0
総計 (%)	247,584 (100.0)	107 (0.0)	247,691 (100.0)	3,152	85,916	336,759

(患者調査による集計)

補足表 41 ドナーとしての腎提供の既往が有りの患者 腎提供から透析導入までの期間\*1と性別，2020

性別	60ヵ月未満 (5年未満)	60ヵ月～ (5年～)	120ヵ月～ (10年～)	180ヵ月～ (15年～)	240ヵ月～ (20年～)	300ヵ月～ (25年～)	360ヵ月～ (30年～)	合計	不明	記載なし	総計	平均	標準偏差
男性 (%)	3 (6.1)	8 (16.3)	8 (16.3)	10 (20.4)	11 (22.4)	6 (12.2)	3 (6.1)	49 (100.0)	2	6	57	211.76	107.46
女性 (%)	0 (0.0)	8 (16.7)	9 (18.8)	5 (10.4)	11 (22.9)	7 (14.6)	8 (16.7)	48 (100.0)	1	1	50	249.33	120.97
合計 (%)	3 (3.1)	16 (16.5)	17 (17.5)	15 (15.5)	22 (22.7)	13 (13.4)	11 (11.3)	97 (100.0)	3	7	107	230.35	115.31
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0	0	0
総計 (%)	3 (3.1)	16 (16.5)	17 (17.5)	15 (15.5)	22 (22.7)	13 (13.4)	11 (11.3)	97 (100.0)	3	7	107	230.35	115.31

\*1 腎提供月が99もしくは空欄であるデータは53件であったが、腎提供月をその年の6月として集計した。

(患者調査による集計)

補足表 42 ドナーとしての腎提供の既往が有りの患者 腎提供から透析導入までの期間\*1と原疾患，2020

原疾患	60ヵ月未満 (5年未満)	60ヵ月～ (5年～)	120ヵ月～ (10年～)	180ヵ月～ (15年～)	240ヵ月～ (20年～)	300ヵ月～ (25年～)	360ヵ月～ (30年～)	合計	不明	記載なし	総計	平均	標準偏差
糖尿病性腎症 (%)	0 (0.0)	2 (9.1)	2 (9.1)	6 (27.3)	8 (36.4)	1 (4.5)	3 (13.6)	22 (100.0)	0	2	24	252.64	101.76
慢性糸球体腎炎 (%)	0 (0.0)	4 (17.4)	4 (17.4)	5 (21.7)	4 (17.4)	3 (13.0)	3 (13.0)	23 (100.0)	1	2	26	243.13	116.12
腎硬化症 (%)	0 (0.0)	4 (20.0)	4 (20.0)	2 (10.0)	5 (25.0)	5 (25.0)	0 (0.0)	20 (100.0)	1	1	22	218.70	87.80
上記以外の原疾患 (%)	2 (11.1)	3 (16.7)	5 (27.8)	2 (11.1)	4 (22.2)	1 (5.6)	1 (5.6)	18 (100.0)	1	2	21	189.50	135.71
不明 (%)	1 (7.1)	3 (21.4)	2 (14.3)	0 (0.0)	1 (7.1)	3 (21.4)	4 (28.6)	14 (100.0)	0	0	14	243.50	139.47
合計 (%)	3 (3.1)	16 (16.5)	17 (17.5)	15 (15.5)	22 (22.7)	13 (13.4)	11 (11.3)	97 (100.0)	3	7	107	230.35	115.31
記載なし (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	0	0	0
総計 (%)	3 (3.1)	16 (16.5)	17 (17.5)	15 (15.5)	22 (22.7)	13 (13.4)	11 (11.3)	97 (100.0)	3	7	107	230.35	115.31

\*1 腎提供月が99もしくは空欄であるデータは53件であったが、腎提供月をその年の6月として集計した。

(患者調査による集計)

## 2020年調査 回答率一覧

施設調査	回答形態	集計対象	集計対象施設数	回答あり (不明回答含む)	回答なし	回答率	参考：回答ありのうち 「不明」回答数
ET 測定頻度	カテゴリ	透析コンソールを1台以上を保有する施設	4,422	4,422	0	100.0	22
ET 測定値	カテゴリ	〃	4,422	4,414	8	99.8	56
生菌数測定頻度	カテゴリ	〃	4,422	4,422	0	100.0	29
生菌数	カテゴリ	〃	4,422	4,397	25	99.4	104
透析用水のための供給水源	カテゴリ	〃	4,422	4,422	0	100.0	21
始業前残留塩素測定頻度	カテゴリ	〃	4,422	4,422	0	100.0	38
残留塩素測定方法	カテゴリ	〃	4,422	4,372	50	98.9	174
日本透析医学会水質基準（化学汚染基準）の認知	カテゴリ	〃	4,422	4,422	0	100.0	78
日本透析医学会水質基準（化学汚染基準）の測定頻度	カテゴリ	〃	4,422	4,421	1	99.9	217
患者調査	回答形態	集計対象	集計対象患者数	回答あり (不明回答含む)	回答なし	回答率	参考：回答ありのうち 「不明」回答数
糖尿病の既往	カテゴリ	透析患者全体	336,759	293,278	43,481	87.1	864
虚血性心疾患の既往（PCI, CABG 後を含む）	カテゴリ	〃	336,759	267,089	69,670	79.3	1,526
脳出血の既往	カテゴリ	〃	336,759	260,795	75,964	77.4	1,552
脳梗塞の既往	カテゴリ	〃	336,759	264,569	72,190	78.6	1,602
四肢切断の有無	カテゴリ	〃	336,759	261,377	75,382	77.6	816
大腿骨近位部骨折の既往	カテゴリ	〃	336,759	260,501	76,258	77.4	1,312
被嚢性腹膜硬化症（EPS）の既往	カテゴリ	腹膜透析（PD）の経験があるか現在施行している患者	19,592	15,861	3,731	81.0	257
降圧薬使用の有無	カテゴリ	透析患者全体	336,759	275,528	61,231	81.8	2,070
喫煙の有無	カテゴリ	〃	336,759	263,609	73,150	78.3	18,905
治療方法	カテゴリ	〃	336,759	336,759	0	100.0	0
HD（F）と PD の併用状況	カテゴリ	〃	336,759	336,759	0	100.0	399
腹膜透析の経験	カテゴリ	〃	336,759	264,351	72,408	78.5	1,484
レシピエントとしての腎移植の回数	カテゴリ	〃	336,759	256,329	80,430	76.1	2,243
ドナーとしての腎提供の既往	カテゴリ	〃	336,759	250,843	85,916	74.5	3,152
腎提供年月	数量	腎提供の既往ありの患者	107	100	7	93.5	3
新型コロナウイルス検査の有無	カテゴリ	透析患者全体	336,759	276,797	59,962	82.2	1,851
初回陽性診断月	数量	新型コロナウイルス検査陽性患者*	789	705	84	89.4	0
年末時点での悪性腫瘍の有無	カテゴリ	透析患者全体	336,759	253,486	83,273	75.3	4,615
年末時点での悪性腫瘍の種類	カテゴリ	悪性腫瘍ありの患者	13,644	12,964	680	95.0	
週透析回数	数量	PD を除く体外循環を用いた血液透析患者	326,876	304,067	22,809	93.0	
透析時間	数量	〃	326,876	304,173	22,703	93.1	
血流量	数量	〃	326,876	301,210	25,666	92.1	
HDF 希釈方法	カテゴリ	HDF 患者	159,397	139,403	19,994	87.5	11
1セッションあたりの置換液量	数量	〃	159,397	131,795	27,602	82.7	
身長	数量	透析患者全体	336,759	296,842	39,917	88.1	
体重（透析後）	数量	PD を除く体外循環を用いた血液透析患者	326,876	297,966	28,910	91.2	
透析前収縮期血圧	数量	透析患者全体	336,759	302,637	34,122	89.9	
透析前拡張期血圧	数量	〃	336,759	302,456	34,303	89.8	
透析前脈拍	数量	〃	336,759	298,523	38,236	88.6	
BUN（透析前）	数量	PD を除く体外循環を用いた血液透析患者	326,876	298,058	28,818	91.2	
クレアチニン濃度（透析前）	数量	〃	326,876	297,830	29,046	91.1	
透析前アルブミン濃度	数量	透析患者全体	336,759	304,609	32,150	90.5	
透析前 CRP 濃度	数量	〃	336,759	267,706	69,053	79.5	
透析前カルシウム濃度	数量	〃	336,759	303,558	33,201	90.1	
透析前リン濃度	数量	〃	336,759	305,841	30,918	90.8	
PTH 測定方法	カテゴリ	〃	336,759	297,448	39,311	88.3	749
PTH 値	数量	〃	336,759	291,185	45,574	86.5	
透析前ヘモグロビン濃度	数量	〃	336,759	304,421	32,338	90.4	
総コレステロール濃度	数量	〃	336,759	252,079	84,680	74.9	
HDL-C 濃度	数量	〃	336,759	248,931	87,828	73.9	
患者調査（PD 調査）	回答形態	集計対象	集計対象患者数	回答あり (不明回答含む)	回答なし	回答率	参考：回答ありのうち 「不明」回答数
現在施行中の PD 歴（月）	数量	PD 患者	9,883	6,977	2,906	70.6	
PET 施行の有無	カテゴリ	〃	9,883	6,923	2,960	70.0	77
PET Cr D/P 比	数量	〃	9,883	3,684	6,199	37.3	
イコデキストリン透析液使用の有無	カテゴリ	〃	9,883	6,877	3,006	69.6	26
一日透析液使用量	数量	〃	9,883	6,747	3,136	68.3	
残存腎機能（一日尿量）	数量	〃	9,883	5,477	4,406	55.4	
一日平均除水量	数量	〃	9,883	6,249	3,634	63.2	
残存 Kt/V	数量	〃	9,883	2,923	6,960	29.6	
PDKt/V	数量	〃	9,883	3,156	6,727	31.9	
APD（自動腹膜灌流装置）使用の有無	カテゴリ	〃	9,883	6,974	2,909	70.6	25
PD 透析液交換方法	カテゴリ	〃	9,883	6,923	2,960	70.0	107
2020 年中の腹膜炎罹患回数	カテゴリ	〃	9,883	6,888	2,995	69.7	21
2020 年中の出口部感染罹患回数	カテゴリ	〃	9,883	6,835	3,048	69.2	44

回答率 = [回答あり ÷ (回答あり + 回答なし)] × 100

\* この回答率の集計には、「死亡患者で新型コロナウイルス検査が陽性あるいは死因が新型コロナウイルス感染症の患者」は含まれません。